

**令和 3 年度  
地産地消に関するアンケート結果**

**2022年（令和4年）3月  
藤沢市**

# 1 令和3年度地産地消に関するアンケート調査結果

## 1 調査概要

### (1) 実施目的

本アンケートの目的は、地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や関心、消費者の購買動向などについて調査し、今後の施策や事業の検討の参考とする。

### (2) 実施方法

郵送アンケート調査

### (3) 調査設計

- (1) 調査地域 市内
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上90歳未満の男女
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 回答方法 郵送回答もしくはWEB回答
- (6) 期間 2021年11月15日(月)発送/12月15日(水)締切

### (4) 回答状況

- 1,643人から回答(回答率54.8%)
- うち、郵送 992件 WEB 651件

### (5) 対象者内訳

次の年代別対象者数を前提とした地区別人口比に応じて抽出

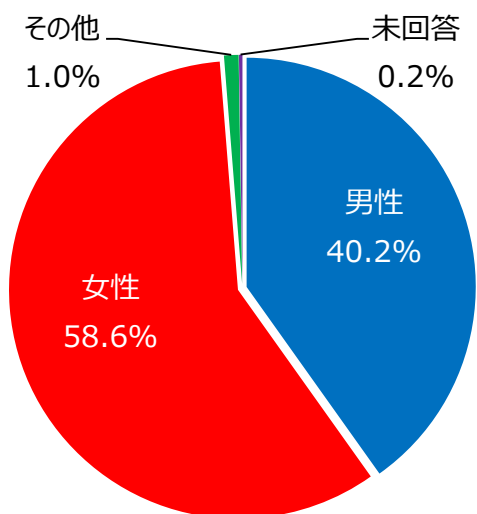
年代	対象者数(人)	年代	対象者数(人)
18歳・19歳	375	50歳代	375
20歳代	375	60歳代	375
30歳代	375	70歳代	375
40歳代	375	80歳代	375
		合計	3,000

### (6) 調査結果を見る上での注意事項

- ・グラフに使われる「n」は各設問に対する有効回答者数、「k」は有効回答件数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。

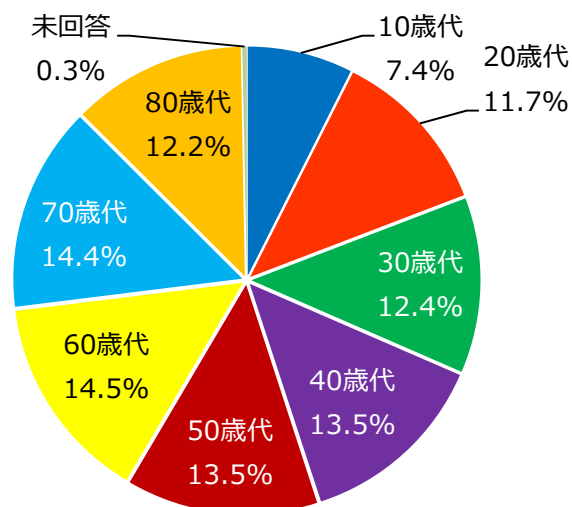
## 2 集計結果

### (1) 性別をお答えください。



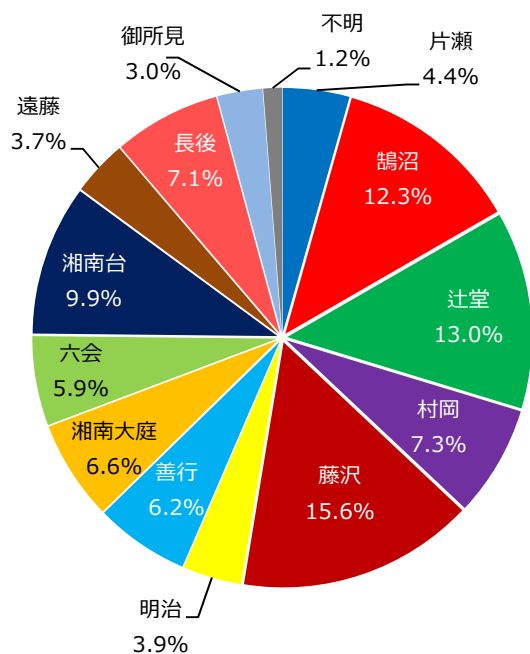
n = 1,643

### (2) 年代をお答えください。



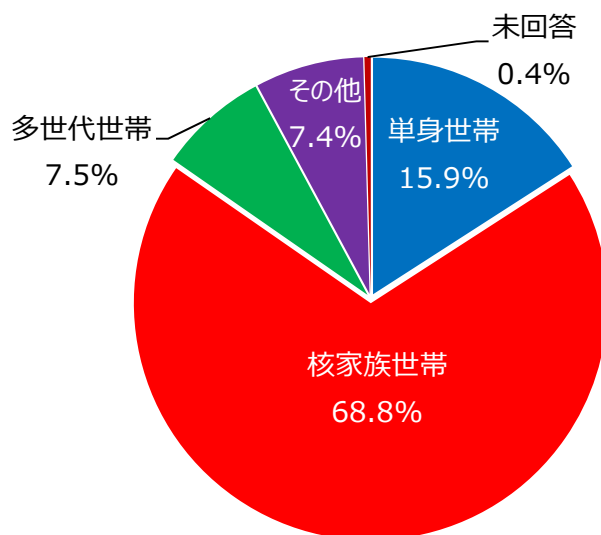
n = 1,643

### (3) お住まいの地区をお答えください。



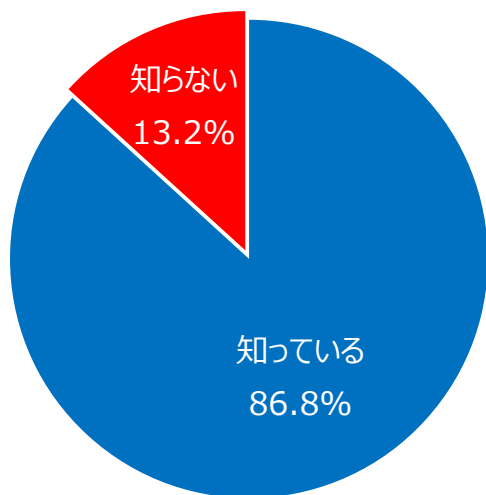
n = 1,643

### (4) 世帯構成をお答えください。



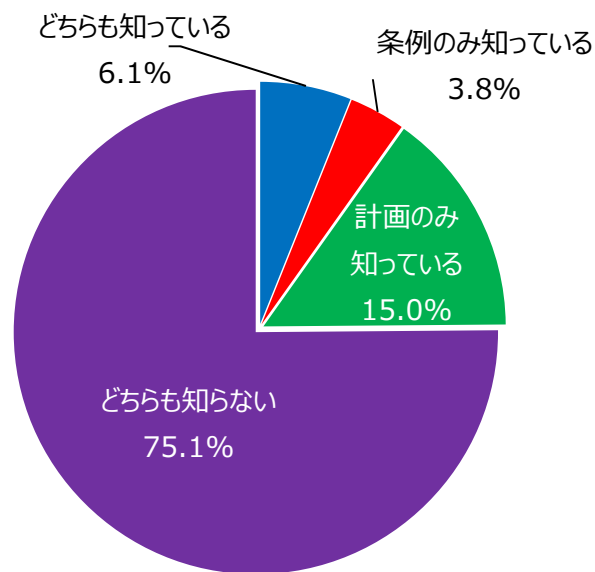
n = 1,643

(5) 「地産地消」という言葉をご存じですか。



n = 1,632

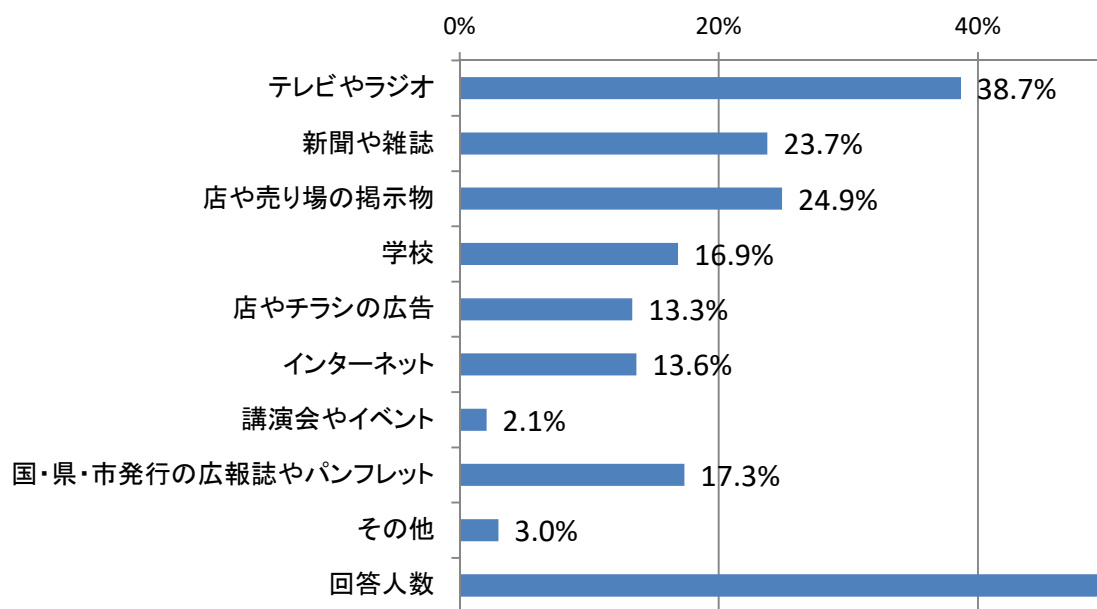
(6) 藤沢市の地産地消に関する  
条例・計画をご存じですか。



n = 1,515

(7) 「地産地消」について何からお知りになりましたか。

( (5) で知っている と回答した方 ) ( 複数回答可 )



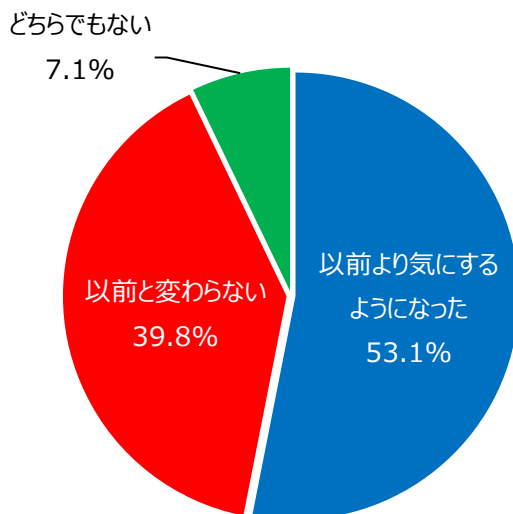
n = 1,235

k = 2,523

※主なその他の回答

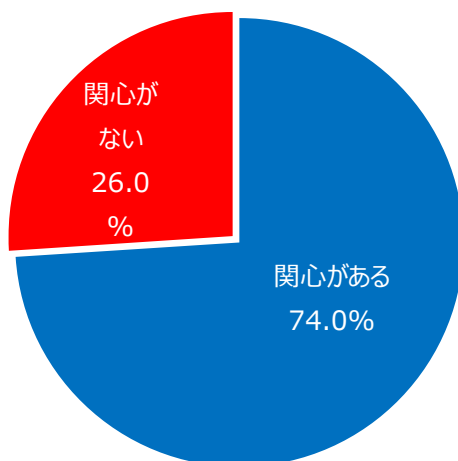
- ・書籍
- ・職場
- ・家族
- ・資格試験
- ・料理教室
- ・友人
- ・市役所の野菜販売
- ・飲食店の表示

(8) 住んでいるまちの農水産物を意識するようになりましたか。  
( (5) で知っているとお答えした方 )



n = 1,247

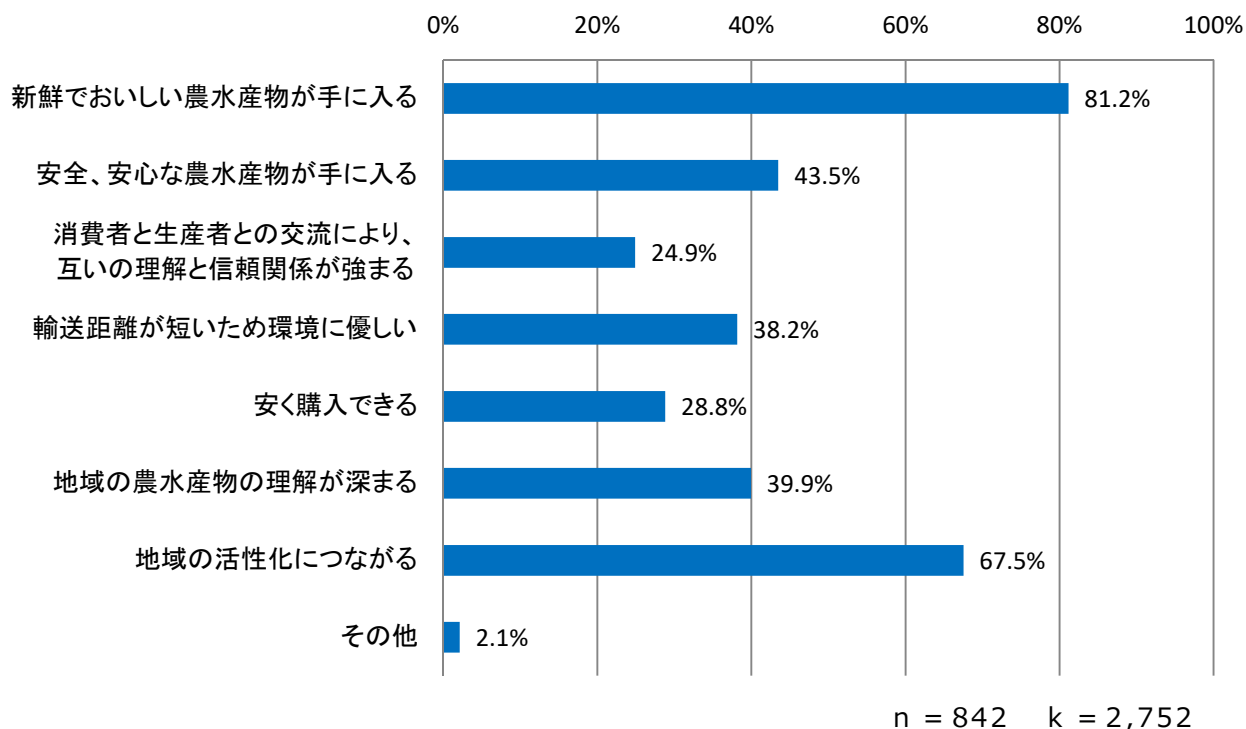
(9) 普段から「地産地消」に関心がありますか。  
( (5) で知っているとお答えした方 )



n = 1,141

(10) 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。

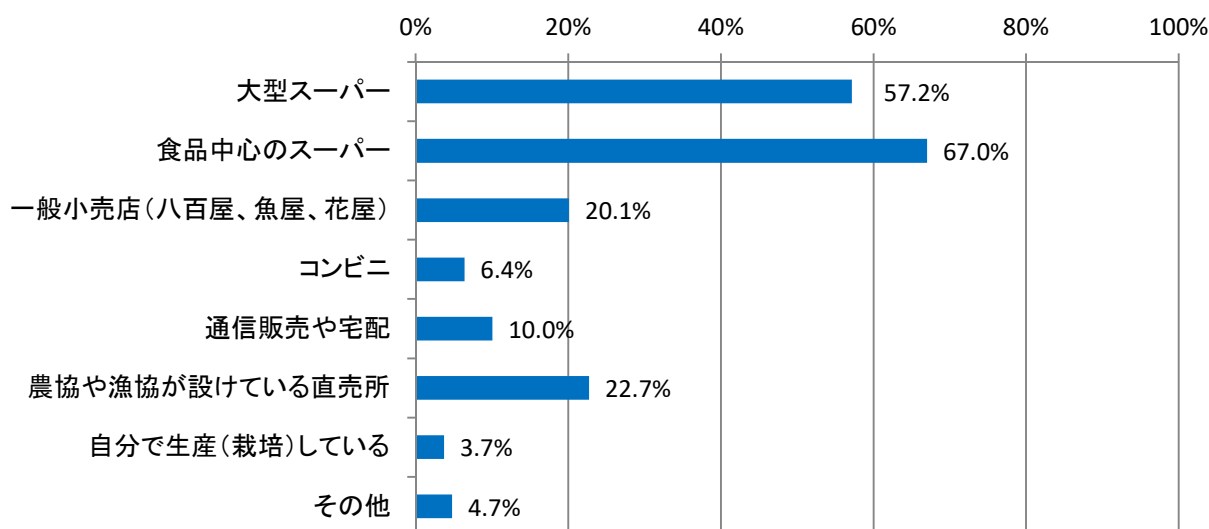
( (9) で関心があると回答した方 ) (複数回答可)



※主なその他の回答

- ・地域に直接利益を提供できる。
- ・新鮮とは思いますが、おいしいとは特別に思わない。
- ・流通経路を通っていない無人販売なのにスーパー小売店と価格が変わらない。
- ・他国、地域を頼らない。
- ・無人販売所
- ・遠くへ輸送するより、身近な所で換金できる。
- ・食物自給率の向上。
- ・給食などでも地産地消を教えられる。
- ・作られている方の顔が見れること。
- ・ゼロウェイストをする上で地産地消は大切だと感心がある。
- ・地元愛が深まる！
- ・自分の地域ではどんな農水産物があり美味しいのかが気になる。
- ・災害等の有事では輸入に頼れず、地元の作物が必須のため。
- ・地域の農産物の振興につながる。

**(11) 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)**

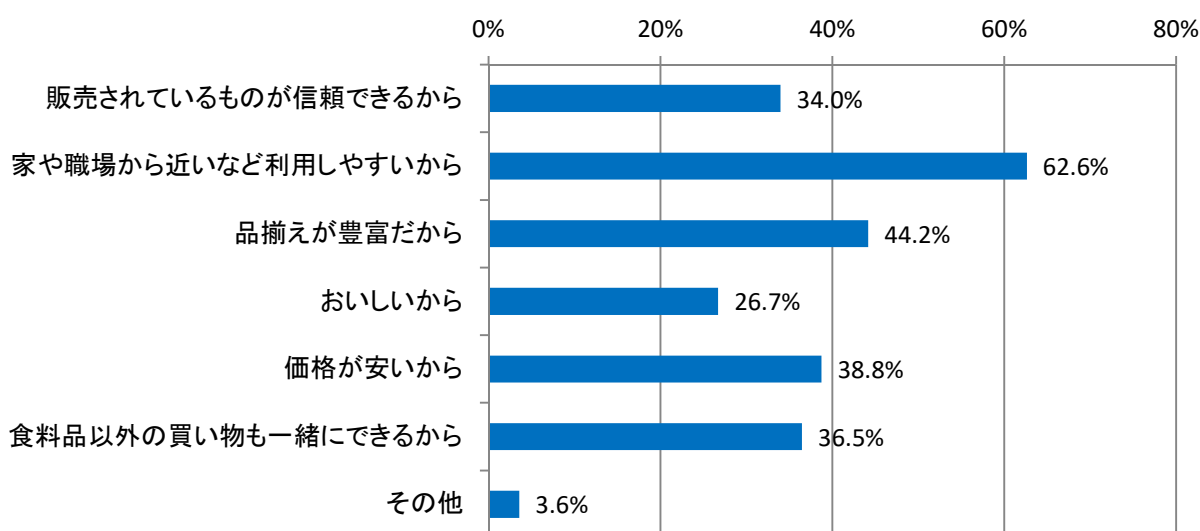


n = 1,599 k = 3,152

※主なその他の回答

- ・知人や家族
- ・百貨店
- ・農家の無人販売や直売所
- ・食品ロスを助けるサイト
- ・店で飲食する際地産のものを指定
- ・自分では買わない

**(12) (11)で農水産物を入手されている理由は何ですか。(複数回答可)**



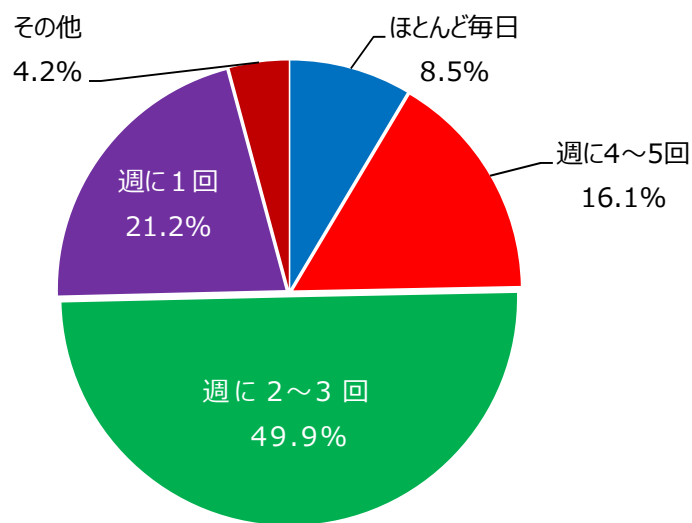
n = 1,595 k = 3,909

※主なその他の回答

- ・生産者と直接話ができる。
- ・新鮮なものが手に入るから。
- ・地元産だから。
- ・宅配が便利で利用しています。
- ・産地の明記がわかりやすい。
- ・近所に一般小売店がない。

- ・地域の活性化。
- ・生活に必要なだから。
- ・品質の良いものが購入できるから。
- ・生産者も信頼できるから。
- ・美味しいものを取寄せる。
- ・無農薬、減農薬のものが手に入る。
- ・便利だから。
- ・直売所はスーパーでは買えない地元のものや、めずらしい品種などがあり、おいしく価格が安い。
- ・新鮮だから入手する場所は理由によってわけている。果物等はよいタイミングで収穫しているものを購入できる（はやもぎでない）。
- ・買い物で貯まるポイントを活用することができるため。
- ・商品に生産者の名前や写真、コメントがついていて安心できる。
- ・片瀬の浜野水産の釜揚げシラスは塩味が絶妙でいつも買いに行く。
- ・気軽に買い物ができる。
- ・殆んど自給自足。
- ・コロナ渦で外出を控えるため。
- ・食品添加物に関心があるので。
- ・安心安全。
- ・買い物に行けない。
- ・地産地消を意識しているから。

**(13) 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。**



n = 1,604

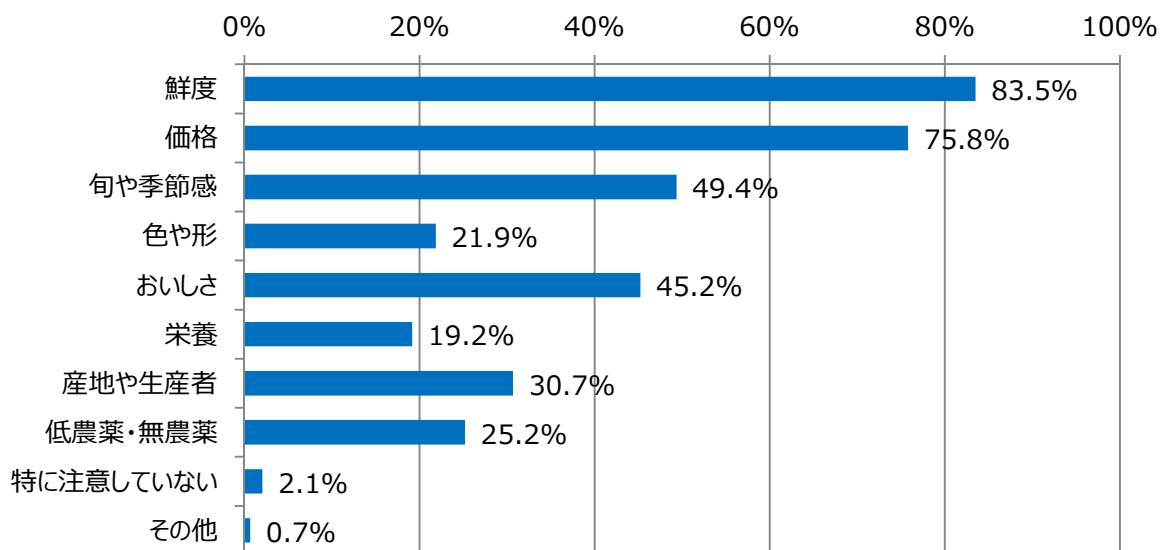
※主なその他の回答

- ・時々
- ・2週間に1回
- ・月に1回
- ・2~3か月に1回
- ・見かけた時に欲しい物があつた時に
- ・自給できない物だけ買う
- ・自分では購入しない
- ・不明



**(14) 購入する農水産物について、どのようなことに注意して選んでいますか。**

**(複数回答可)**



n = 1,614 k = 5,808

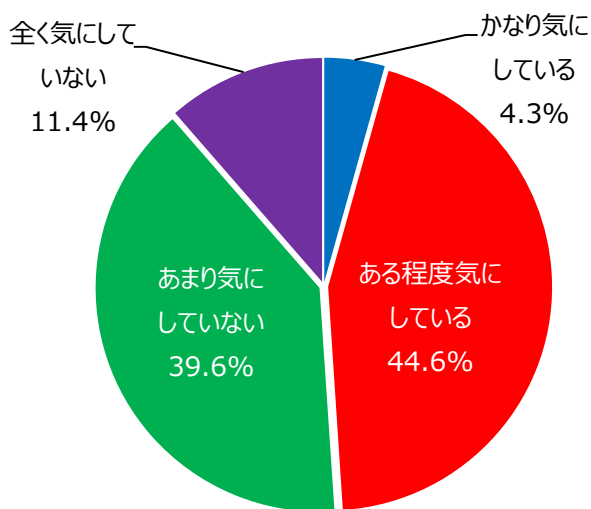
※主なその他の回答

- ・塩分含有量
- ・国産を選んでいる
- ・品質
- ・地産物を選ぶ
- ・清潔か、衛生面
- ・使い切れる量か

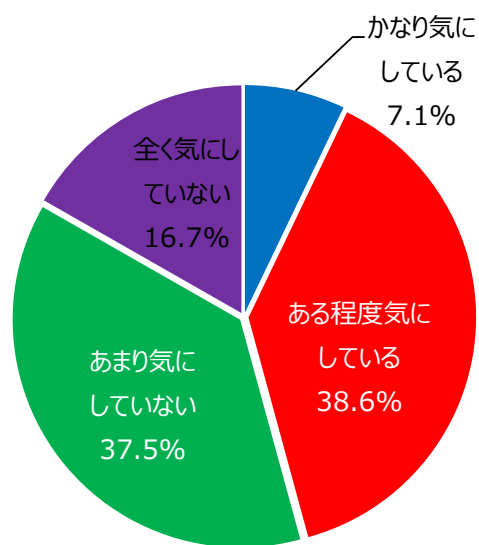
**(15) 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。**

①ブランドとして有名な産地のものであること。

②藤沢産のものであること。

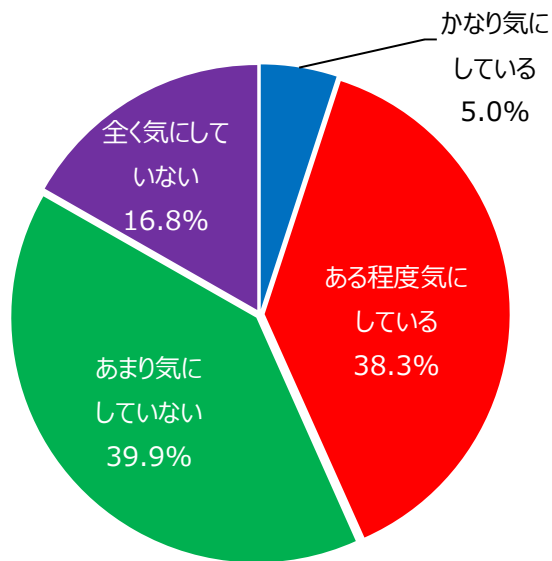


n = 1,612



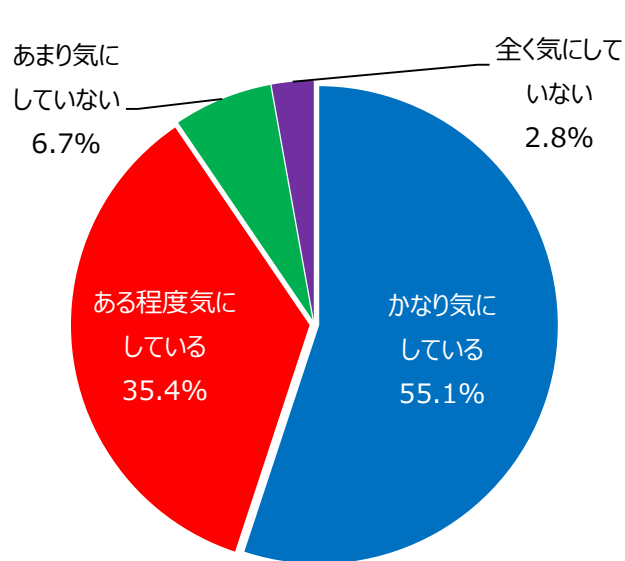
n = 1,613

③ 県内産のものであること。



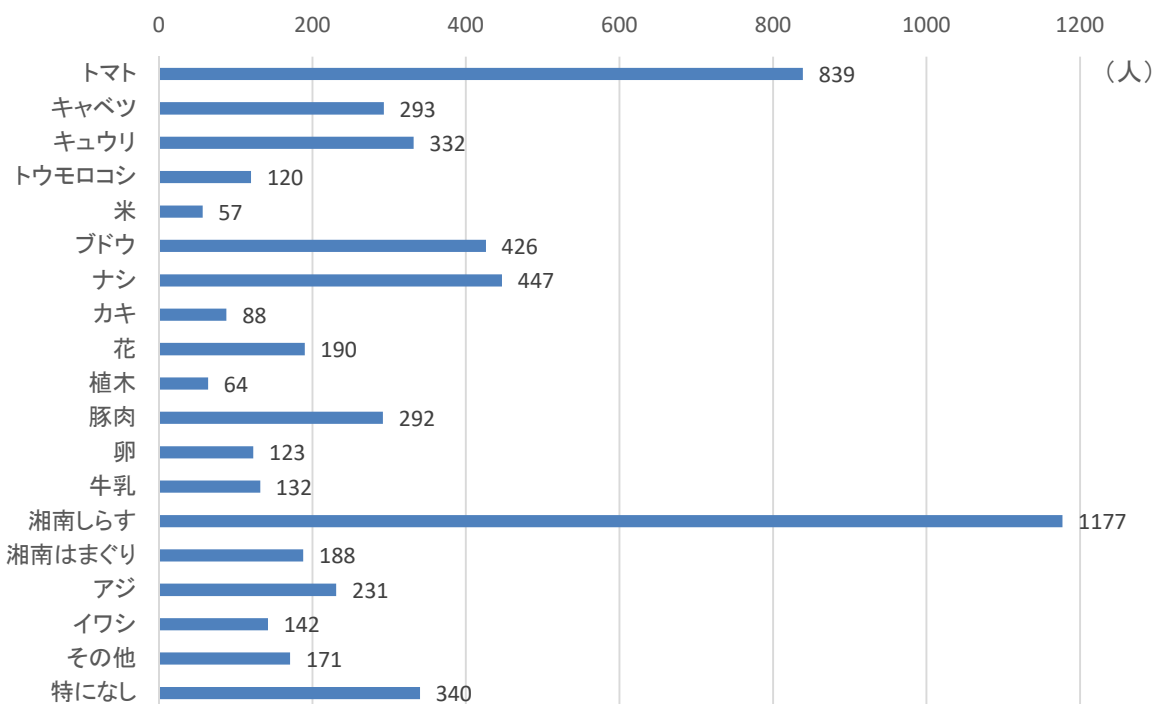
n = 1,611

④ 国産のものであること。



n = 1,618

(16) 藤沢産の農水産物といえば、何を連想しますか。(複数回答可)

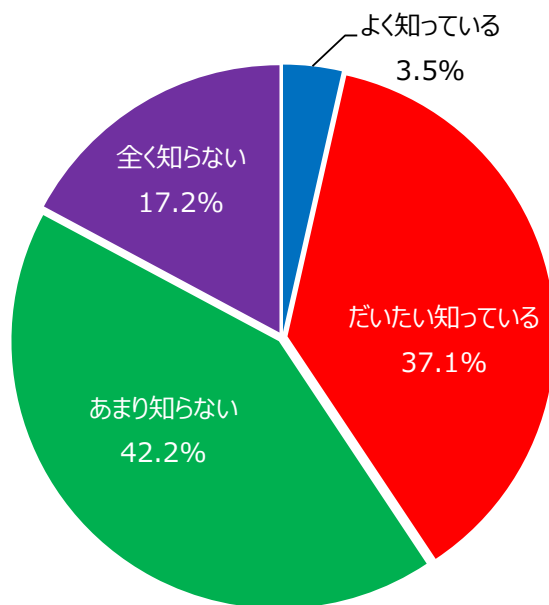


n = 1,604 k = 5,652

※主なその他の回答

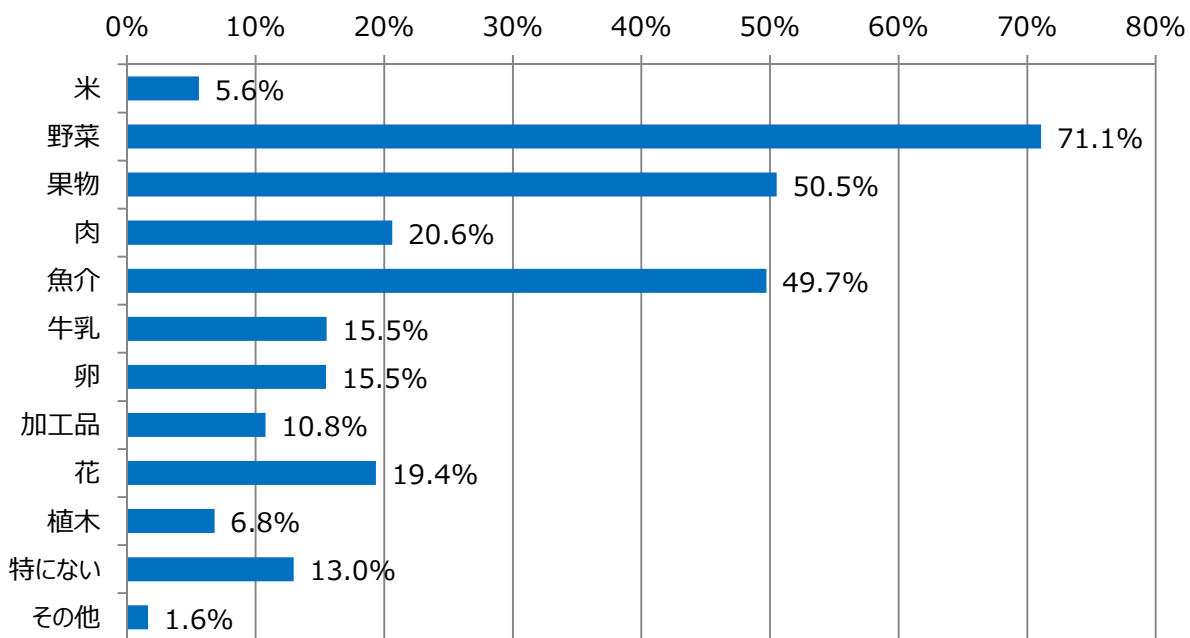
- ・湘南ゴールド
- ・レタス
- ・小松菜
- ・大根
- ・かぼちゃ
- ・牛肉
- ・いちご
- ・ワカメ
- ・赤しそ
- ・ナス
- ・ブロッコリー
- ・サツマイモ
- ・カマス
- ・春菊
- ・にんじん
- ・サザエ
- ・生姜
- ・小麦
- ・かぶ
- ・枝豆

(17) 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。



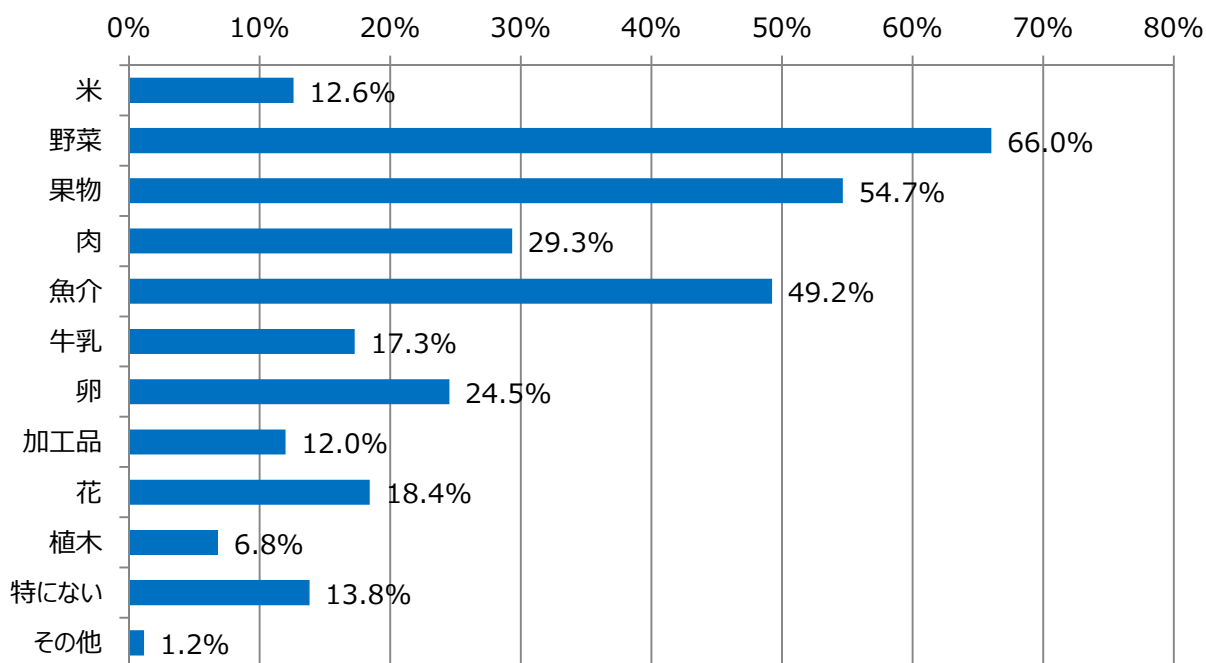
n = 1,584

(18) 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)



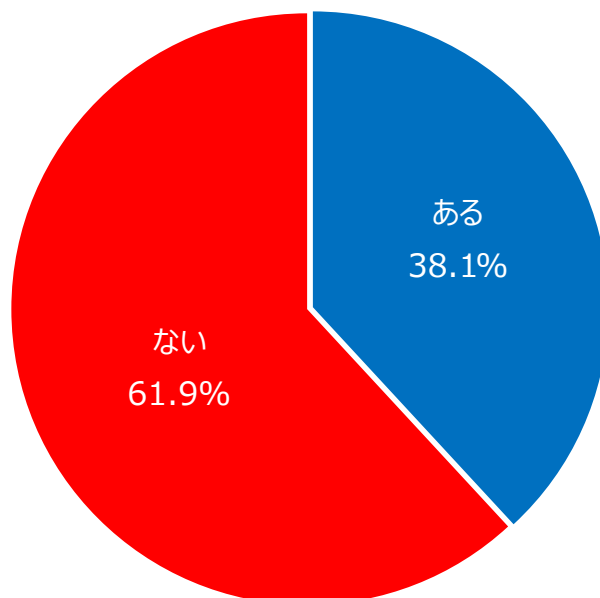
k = 1,597 n = 4,602

**(19) 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)**



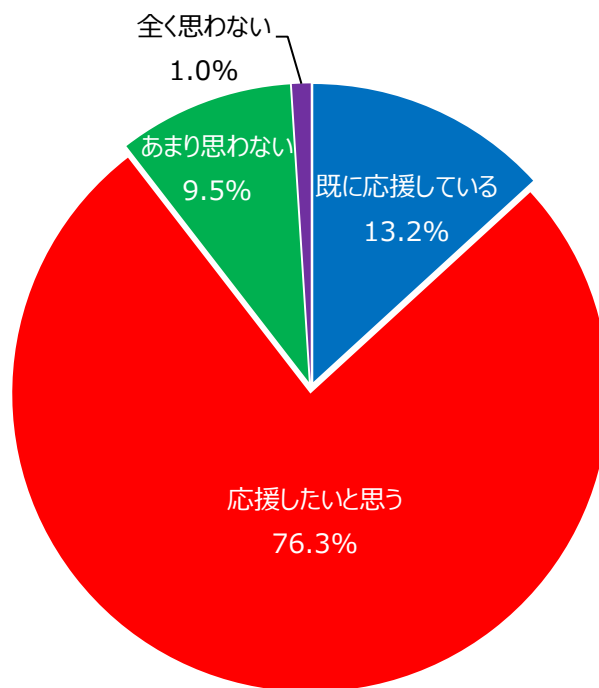
n = 1,591 k = 5,026

**(20) 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。**



n = 1,579

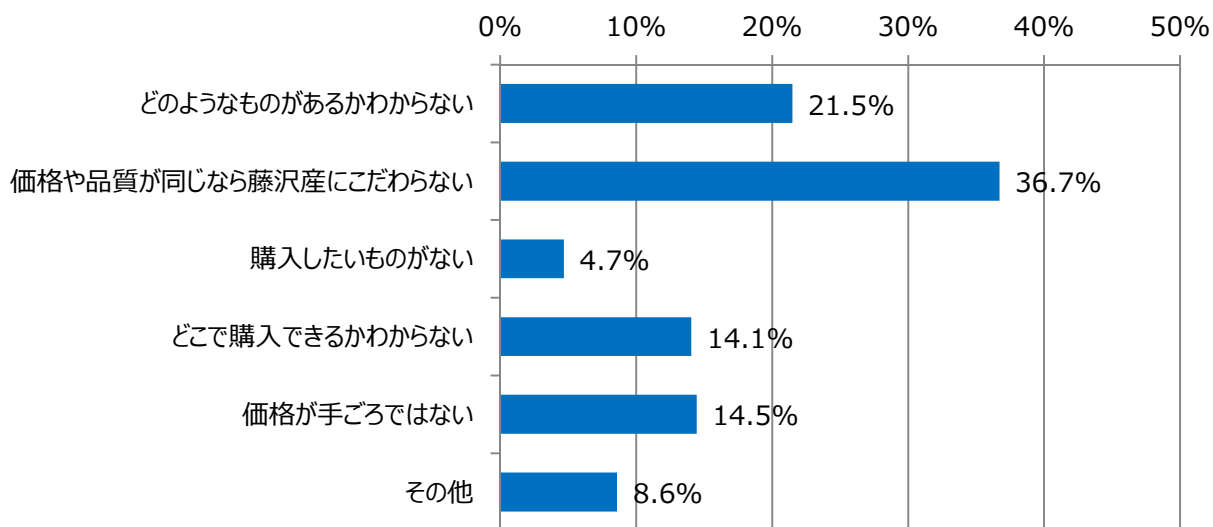
(21) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いませんか。



n = 1,584

(22) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思わない理由はどのようなことですか。

( (21) で「あまり思わない」、「全く思わない」と回答した方 ) (複数回答可)



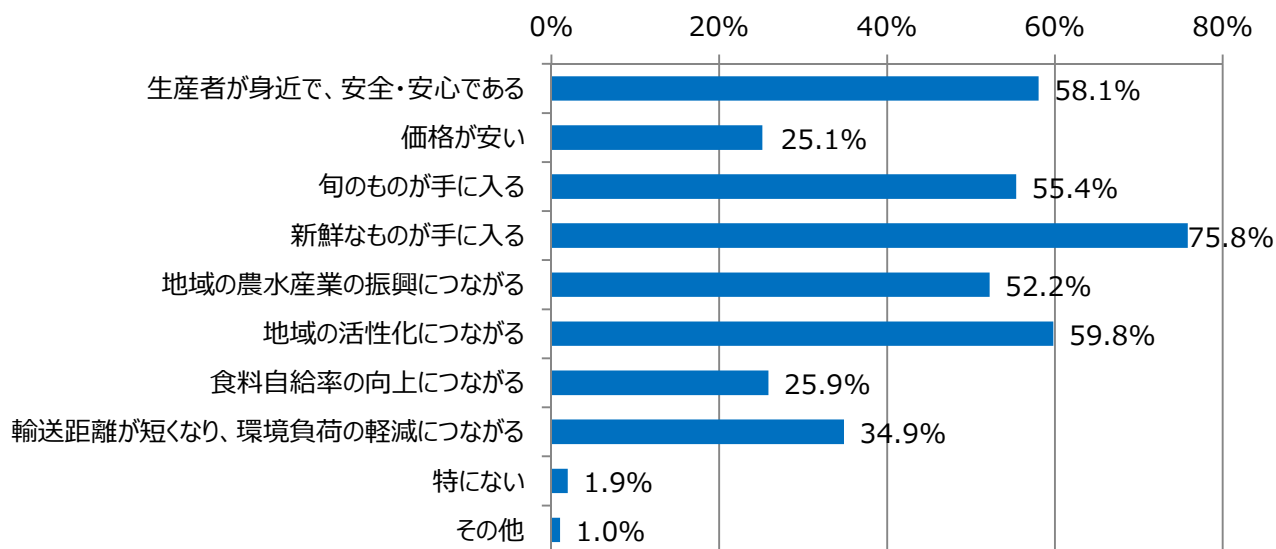
n = 162 k = 256

※主なその他の回答

- ・たまたま購入したのが藤沢産だったというだけで地元産を探しているわけではないので。
- ・特に果物の価格は、直売にもかかわらず値段が高すぎる。
- ・流通量が少ないので割高。
- ・宅配にしているので。
- ・何が美味しいのか、他の産地との違いは何なのか？差別化すべき。
- ・地産地消に興味がない。
- ・鮮度、味、価格で勝負すべき。
- ・特にメリットを感じないから。

(23) 「地産地消」のメリットとして、あなたの印象や感じるものを選んでください。

(複数回答可)

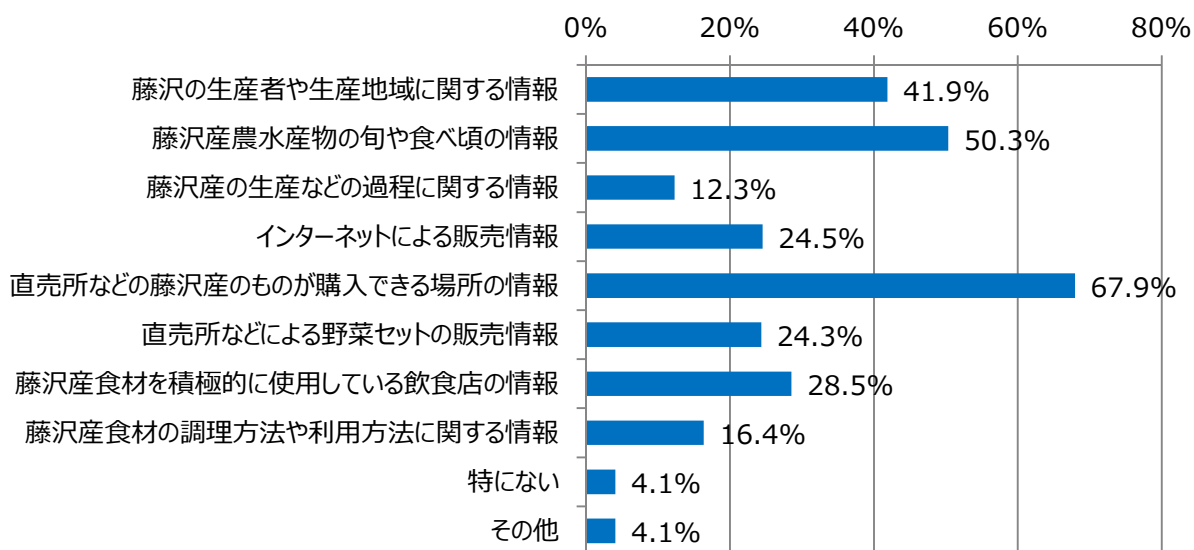


n = 1,475 k = 5,829

※主なその他の回答

- ・スーパーでは味わえないみずみずしく新鮮さが多くの人に知ってほしい。
- ・藤沢市内で地産地消のお店や、レストランがあったとして藤沢市民に関しては安くなるような特典が設けられたらより一層、地産地消の活動が進むのではないか？
- ・よくある道の駅みたいな場所でいろいろな品物を一堂にあればあちこち歩くことなく買い物しやすい。
- ・畑や田んぼ保全での地域の緑化や災害時の減災。地域の環境への意識が高まる。(海なども)
- ・地元の農家を繁栄させるため。農家は苦しい。
- ・地元を応援したと思う気がする。
- ・子供たちの食育にも良い事だと思う。
- ・学校給食にも提供しているとの事。
- ・有機もしくは有機に近いもの。
- ・楽しい←近くで良いものが手に入れられる。生活の向上。
- ・美味しい。

**(24) どのような情報があれば、あなたは「地産地消」に取り組みやすくなると思いますか。(複数回答可)**



n = 1,570 k = 4,508

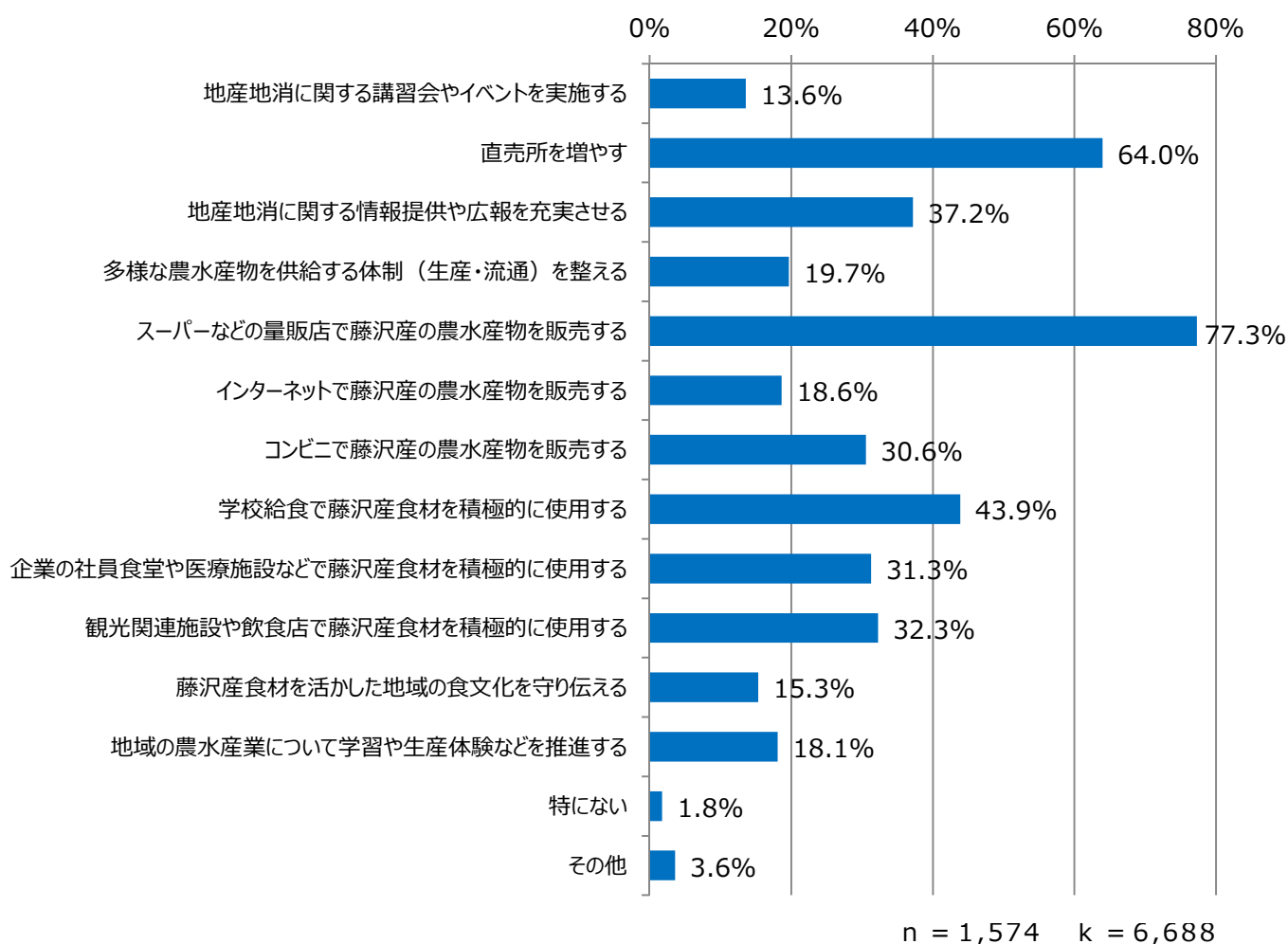
※主なその他の回答

- ・情報も大切と思うが、現物を目にする機会を増やした方が周知されると思う。
- ・購入できる場所の情報にエリアマップをもっとわかりやすいのがあるといい。お散歩コースとあわせてまわれるとか。
- ・肥料・農薬に関する情報
- ・湘南ならではの洒落感を演出しながら、販売をしていただけたら更に良くなるのではと思う。
- ・藤沢産の野菜と分かりやすいようにコーナーなどづくり、フェアなど行う。
- ・コロナが落ち着いたら土曜又は日曜の朝に集まりやすい各場所でマルシェをやって欲しい。その情報もラインで欲しい。
- ・スーパーなどでの販売情報
- ・ブランドをつくる。おいしさを up する。
- ・ふるさと納税。
- ・価格情報
- ・行きつけのスーパーに地産コーナーがあれば買いやすい。市境に住んでいる為近くのスーパーが市外なのが残念。
- ・藤沢産食材の販売箇所を増やす。
- ・スーパーにあれば買うと思うが、情報があるだけでは購入には繋がらないと思う。
- ・他の国産食品との明確な違い、価格の妥当性の表示。
- ・スーパーに藤沢産のものを置いて他地域産に負けない新鮮さ等をアピールする。



- ・藤沢産農水産物を積極的に扱うスーパー、飲食店等への市の公式認証と、認証マークの店頭・店内等での掲示。
- ・地産地消による生産者や消費者、地域に与えるメリット。
- ・子供が藤沢牛に関するパンフレットを学校で配布され藤沢ブランドについて知るきっかけになった。

**(25) 「地産地消」をより進めるためにあなたが効果的だと思う取組を次の中から選んでください。(複数回答可)**



※主なその他の回答

- ・消費者側に立った農水産物の販売。
- ・講習会やイベントの後に青果店でいつでも販売している事や店舗を紹介する。
- ・駅で販売してくれたら電車降りてすぐ手に入り便利。
- ・藤沢産食材を使って美味しいメニューの献立のプランを、HP や市役所の小さいコーナーにでもプリントして備える。
- ・フードマイレージについて市民を教育する。
- ・毎週〇曜日など決めてファーマーズマーケットを開く。

- ・それぞれの直売所の商品が一番そろっている時間の目安があると嬉しい。
- ・藤沢の大学学食に納入したり。
- ・青果は購入できる場所が増えてきたと感じるが、魚類を購入できる場所やひんどを増やしてほしい。
- ・今後は SNS を使うなど広報活動にも力を入れる事をより積極的に行っていく。
- ・生産者の育成。
- ・地元野菜の定期宅配があれば試してみたい。
- ・減農薬と商品に付けるだけでも健康志向の消費者を確実に獲得できると思う。
- ・まずは B 級品などを販売し、価格を抑え、味の良さを多くの人に広めていく。
- ・物流費が安いことを活かした価格抑制。
- ・ポイントカード等による、購入者への還元。
- ・わいわい市の店舗を増やす。
- ・生産者が直接おいしい調理の仕方を教えてくれる。
- ・小規模農家から農水産物を藤沢市が買い取り、地域の小学校、中学校の給食で提供する。
- ・ふるさと納税。有名な店に地産品を使って加工した物を名物にしてもらおう。
- ・量売り、瓶詰めなど地産地消でないと出来ない環境保全サービスを提供する。
- ・幼稚園でおいもほりや柿もぎ体験がありとっても良かった。小学生でも収穫体験ができるといいと感じる。
- ・収穫している所の動画を見せたりしてもいいのかなと。
- ・レタスなどは工場内で水耕栽培し安定低価格で提供できる体制を作り、ブランドにする。
- ・「はるみ」「西南のひかり」などの新しいミカンを大規模生産し、藤沢ブランド化する。
- ・公民館等で日曜日に朝市を検討して欲しい。（平日は働いているので×）
- ・コンビニ弁当などで地産の食べ物を使ってもらおう。
- ・道の駅等
- ・子どもと一緒に参加できる畑や海のイベントを増やしてほしい。
- ・低農薬野菜、無農薬野菜の生産、情報公開を増やす。
- ・学校給食の献立に藤沢産が入っている場合は給食だよりで知らせて欲しい。
- ・地産地消による多様なメリットについて、幅広く（一般企業や病院、学校など）への啓蒙活動を継続する。

**(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)**

- ・主婦がよくいくスーパー、コンビニでどんどんアピールして、タウンニュースなどで紹介したり学校給食などでも使ったりして広めて行くようにしたらどうか？
- ・高齢化になっているので、移動販売等もあつたらお年寄りの方々が喜んでもらえそう。設備費や人件費の問題も出てくると思うが、失業率を減らすのにも役に立つのでは。市民の老若男女が喜んでくれそうな企画も何か出来たら楽しそう。藤沢市が盛り上がるのを願っている。
- ・湘南しらすや鎌倉野菜など、マスコミが取り上げると知名度は上がるが、地元住民としては名より「おいしい」かどうか重要。観光客向けにはブランディングが効果的かと思うが、住民には新鮮でおいしい生産にあたってのこだわり、いつどこで買えるかなどの情報を。地元のものを使って調理に工夫して提供している飲食店などの情報が効果的だしありがたい。また、乳牛農家で地元野菜生産者とコラボしたジェラート販売（伊勢原にあり 石田牧場）など「地元」のこだわりをウリにしてもよいのではないか。
- ・魚類はスーパーの商品に「～産」と書かれている。でも海外とか名産地のものしか「地名」が載ってないケースが多い気がする。[藤沢産]とか明らかな「コーナー」をスーパー、商品専門店で作ったら必ず市民はその「コーナー」によると思う。それは難しい話だとは思いますが……大手のスーパーにそのコーナーが作られたら、地元の方々は必ず寄ると思う。
- ・小学校の給食で「地産地消」を考え献立を考えてもらっているのだから、子供も関心が持てるようになった。
- ・田舎の道の駅はまさに地産地消でとても安い。特に主婦がいかれる広いパーキングがほしいし、わいわい市場は地産だが割と値段が高いし土日は道が混んでパーキングがいっぱいになって買いにくいので（鎌倉野菜も高いし…）野菜の形が悪かったりするものも味は一緒なので安く（すてるより）大学学食におろしてもっと子供たちに藤沢野菜の魅力を伝えてほしい。スーパーも高いし。なので、善行・六会方面の一般の家の100円野菜をわざわざ自転車で買いに行っている。漁港も江の島魚市場があるとよい。
- ・地産地消の配達制度があれば利用できると思う。
- ・JA わいわい市がある程度近い為充実した産物を入手できる。農業者の特に野菜の新しい品種への取り組みは鎌倉野菜以上だと感じている。新しい品種はまず購入したためしであり、楽しみの一つ。果物では庭先のような素朴な感じのものを手にすると懐かしい思いに包まれ幸せだ。世代が変わる時代でもある。若い世代が働きやすいように支援の為に予算を増やしていただきたいと思う。
- ・よく利用する八百屋などで「藤沢産」と見かけると気になり、買うことが多い。最近では大型スーパーの片隅に地産のコーナーもよく見るようになった。もっと増えたらうれしい。
- ・「地産地消」が定着し地域に根付けば現在話題になっているSDGsの一助になるのではないか。

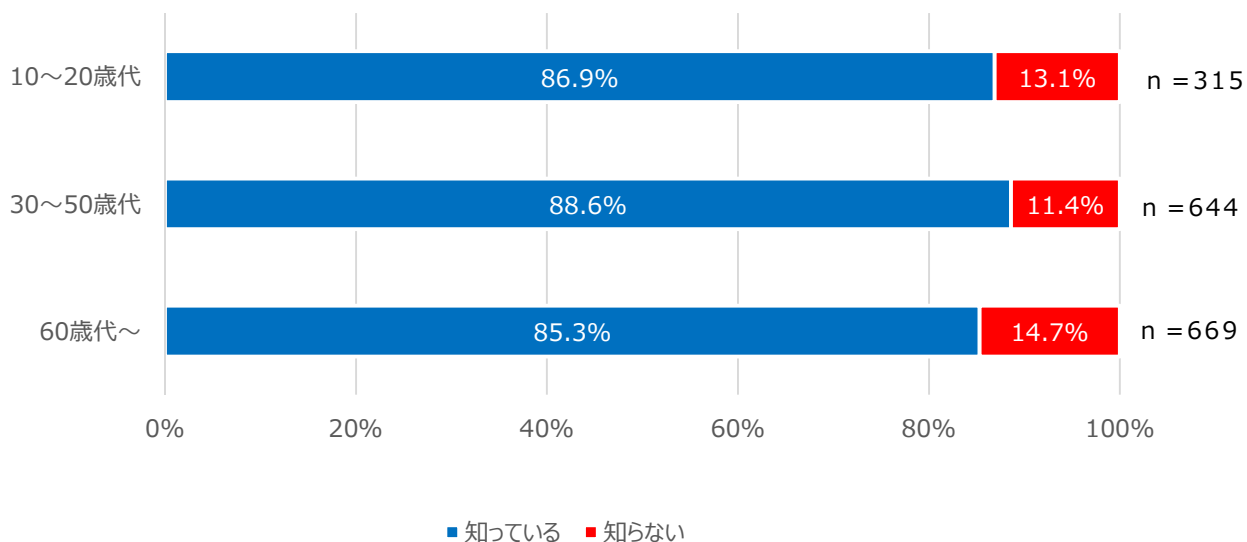
- ・地産地消でもスーパーの特売のような売り方をして欲しい。値段が高く感じる。レシピごとに材料をそろえて売って欲しい。例えばカレーライスなら、ジャガイモ・ニンジン・玉ねぎ・ブタ肉などレシピと一緒に。
- ・インターネット社会になり、食品までもネット購入が中心になっていくと年寄がとりのこされる気がする。ネットと同時進行で対人販売にも力をいれてほしい。
- ・とても良い取りくみでうれしく思う。まだ、よく知っていなかったので、これから勉強していきたい。新鮮で安心な食品を買いもつめ、健康な生活ができるように努力したい。
- ・トマトは湘南のものは特においしく地方の親類や友達に送ると皆「びっくりするくらいおいしい」との事。野菜は本当においしいと思う。また販売所にはたいていそこのおばあちゃんがいて、生き生きとお仕事していて素適だなと思う。
- ・スーパーの販売があれば利用したい。鎌倉野菜の直売所のような形、いろいろな種類の少量の野菜の詰め合わせがあると試しに使ってみようと思う。
- ・これからも国産の物、神奈川県産の物、藤沢産の物を心して購入していきたいと思う。生産者の方々、流通にかかわる方々に感謝して新鮮で美味しい物を食していきたいと思う。
- ・藤沢産の農水産物の購入を心がけている。今後も近場の新鮮で安価な農水産物が手に入ることを期待している。藤沢市の地産地消条例、推進計画が策定されていることを知らなかったこと自体残念である。もっと積極的に周知してほしい。
- ・日本は食料自給率が大変少なく、心配している。各地域で地産地消を進めていけば、未来の子供たちも安心して食生活を送ることができると思う。まずは情報の量をふやし、広げていただけることが一番だと思う。
- ・藤沢生まれ藤沢育ちの自分にとって「地産地消」や「藤沢産」ロゴマークの付いた物を買ったりすることにかなりこだわっています。近くにあるわいわい市へ野菜などを買いに行きますが、かなりの大混雑で多くの物が完売します。直売所がもっとあったらいいのではないかと。落ち着いて買うことができるのではないかと。
- ・藤沢市の広報で優先的にイベント情報 地元産、野菜、魚類等販売について常時掲載してほしい。求めているのに情報がない。
- ・藤沢産の農水産物が豊かに育ち、食卓に並び、少しでも多く地産地消が進み心が豊かになる日が1日でも多くある様楽しみにしている。
- ・近所に週1回鎌倉野菜の移動販売が来ているのでよく利用している。藤沢野菜も軽トラの販売があればよい。
- ・湘南〇〇、藤沢〇〇など、ネーミングから藤沢産とわかると、手に取りやすくなって良いと思う。
- ・近隣の農家さんの玄関先で無人の野菜スタンドがあり、時々購入する。野菜はとても新鮮で、安価、美味と三拍子そろっている。大がかりではないが、まさに「地産地消」の先駆けだと思う。

- ・同封されていた「おいしい藤沢産」についてのチラシを見て、ホームページをのぞいてみた。いろいろ知識が増え楽しかった。これから時々このページを見てみようと思う。
- ・将来のためにも学校給食で生徒達に教えるのは大事と思う。
- ・鮮度のいい大根のみずみずしいのにはおどろいた。キャベツも新しいと生で食べると野菜の甘さにびっくりした。
- ・直接軽トラックなどで住宅街に売りに来てもらえるとゴミ削減にもつながると思う。
- ・自然沢山の地域の利益をもっと活用してほしい。やはり、旬の野菜は最高。農家の方、維持はきっと大変かと思うが、いつも感謝している。
- ・正直価格設定が高すぎて購買意欲が削れる。市で金額の補填しては。それか藤沢産の農水産物を購入したらポイントがもらえ、ポイントが貯まったら野菜一式プレゼントなどしたらどうか。スーパーの出入等に地産地消のポスターをはるように協力要請してみてもいいかがか。また、藤沢に住民票提出時に転入してすぐの方はなにが特産物かわからない。PR含めお米や野菜プレゼントして知名度を上げる努力してみてもいいかがか。
- ・藤沢へ転居してきて、発見だった事が「野菜が美味しい！」と思った事だった。あまり野菜が好きなお方ではなく、スーパーの野菜しか知らなかったので「わいわい」で買った野菜に驚いた。鎌倉野菜よりおいしいと思っている。スーパーなどで美味しい地産のものが手に入れやすいと嬉しい。
- ・マルシェなどを開いて、そこで売って欲しい。（料理した物を含む）小さい子供がいるので、オーガニックの物がマルシェ等で地産地消できると良いと思う。
- ・藤沢のどこで、どのように、何が、誰の手で作られているのか等の情報が直売所だけでなく色々な所で目にする機会があれば良いと思う。地産地消も大切だが、安全に育てられているのか等の情報もほしい。
- ・小学校の地産地消メニューは大人も勉強になっている。給食で新米などを頂いてありがたいことだと思っている。近藤乳業が給食以外で地域に密着しているイメージがあまりないので、(いつも飲んでいる湘南牛乳が藤沢のものだとは知らなかった)もっと知られば良いのではと思う。
- ・藤沢市はいろんな食材を生産しているにも拘らず、農産物は特に特産品についてのイメージがないような気がする。ブランド化したり、作り手側のPRがもう少し上手だと良いのに、と思う。
- ・野菜は主に八百屋で購入しているが、藤沢産は無く、茅ヶ崎や三浦、綾瀬市のものをよく見る。藤沢産があれば気には止めるでしょうが、神奈川県産であれば安くて美味しそうなものを選んでる。大多数のひとは地産地消と言われると神奈川県産をイメージし、藤沢産に限定して考えないと思います。言葉の定義から見直す事をお勧めする。

### 3 クロス集計結果

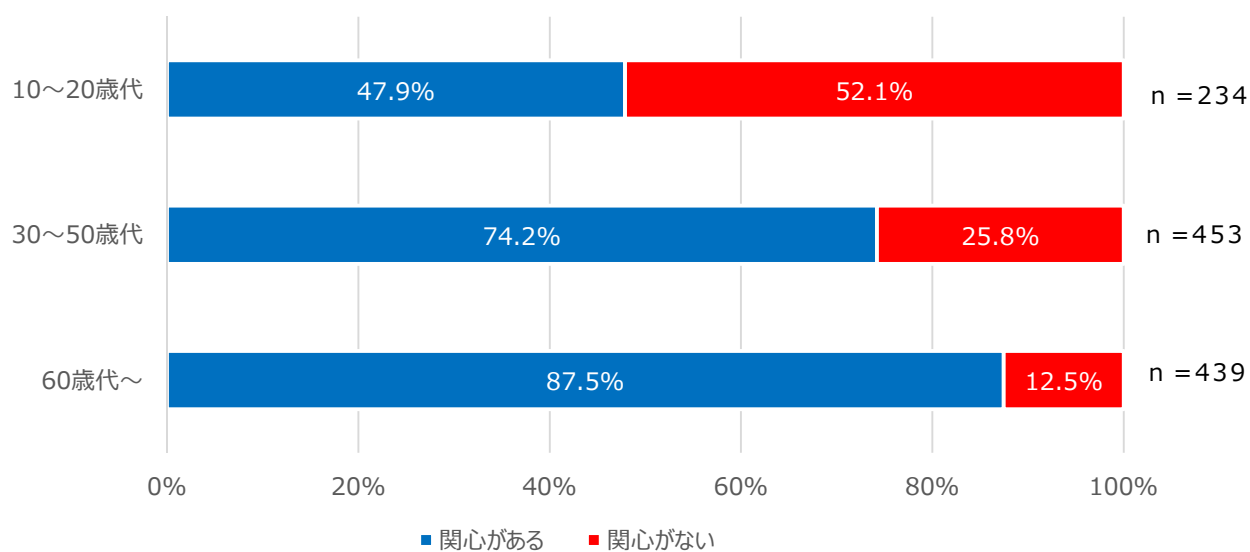
#### (1) 年齢別集計

##### ① 「地産地消」という言葉をご存じですか。

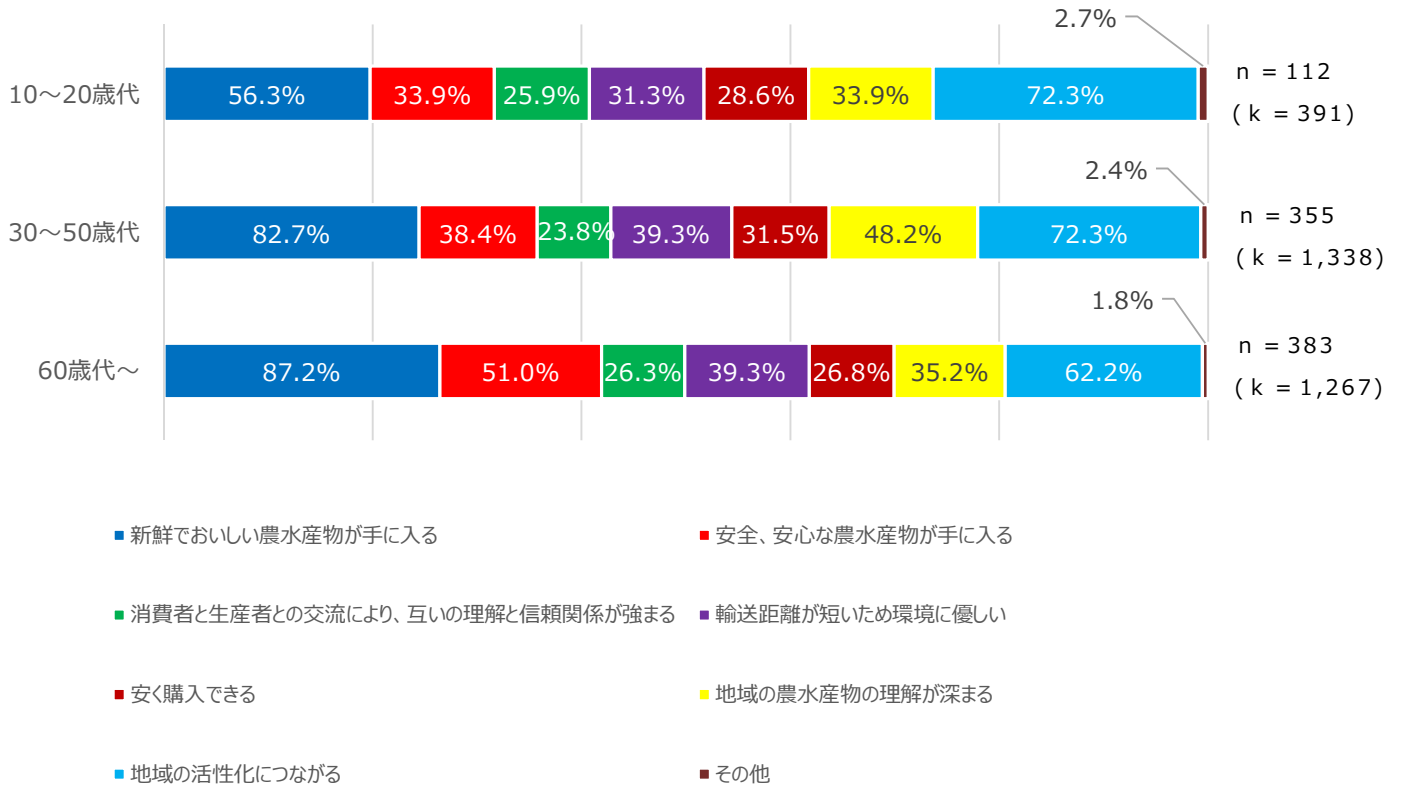


##### ② 普段から「地産地消」に関心がありますか。

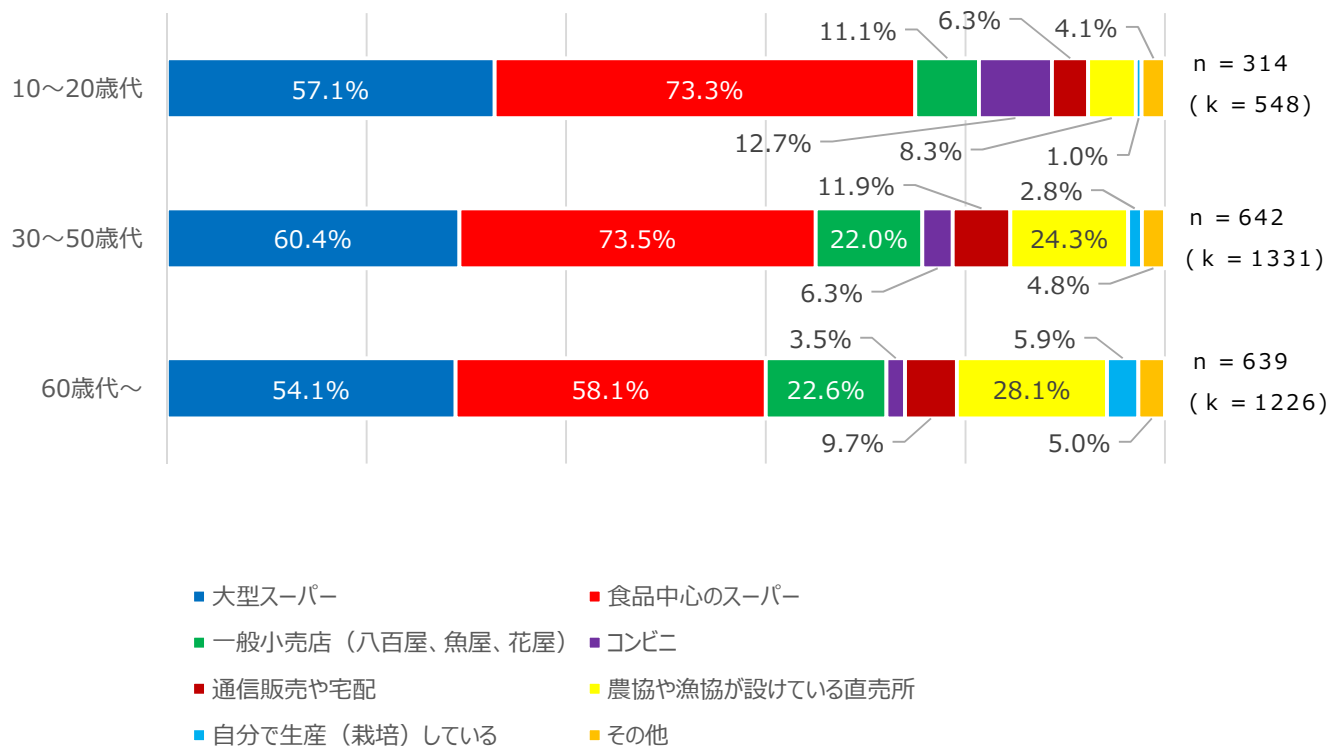
(①で知っていると回答した方)



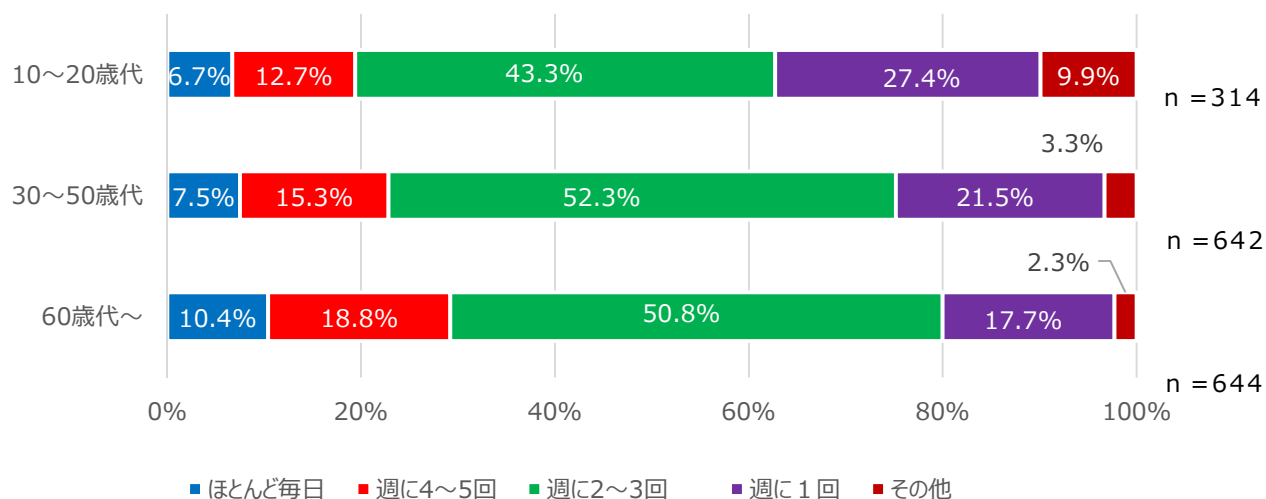
③ 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。  
 (②で関心があると回答した方) (複数回答可)



④ 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)

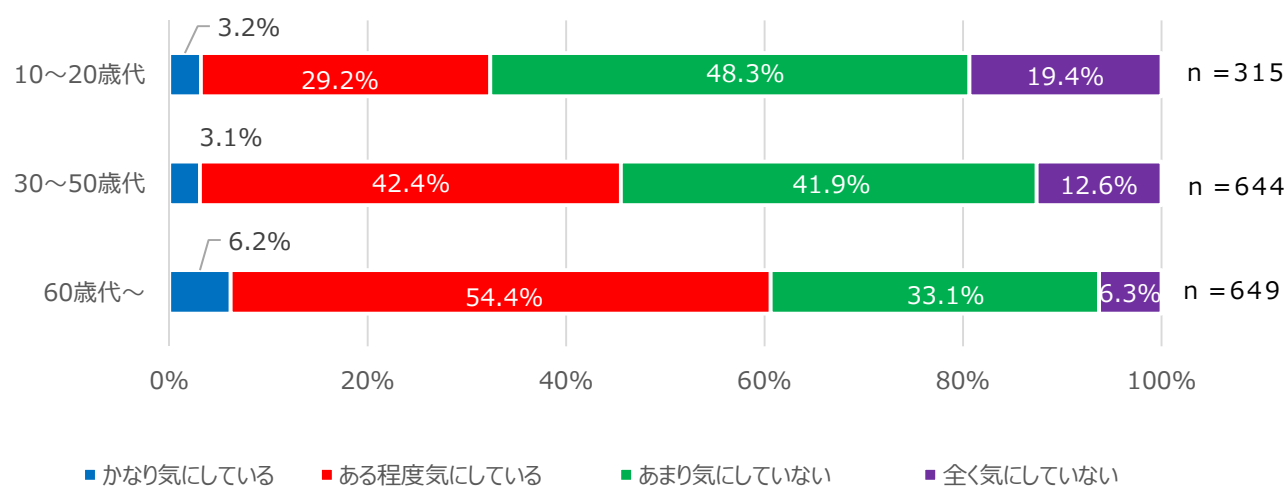


⑤ 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。

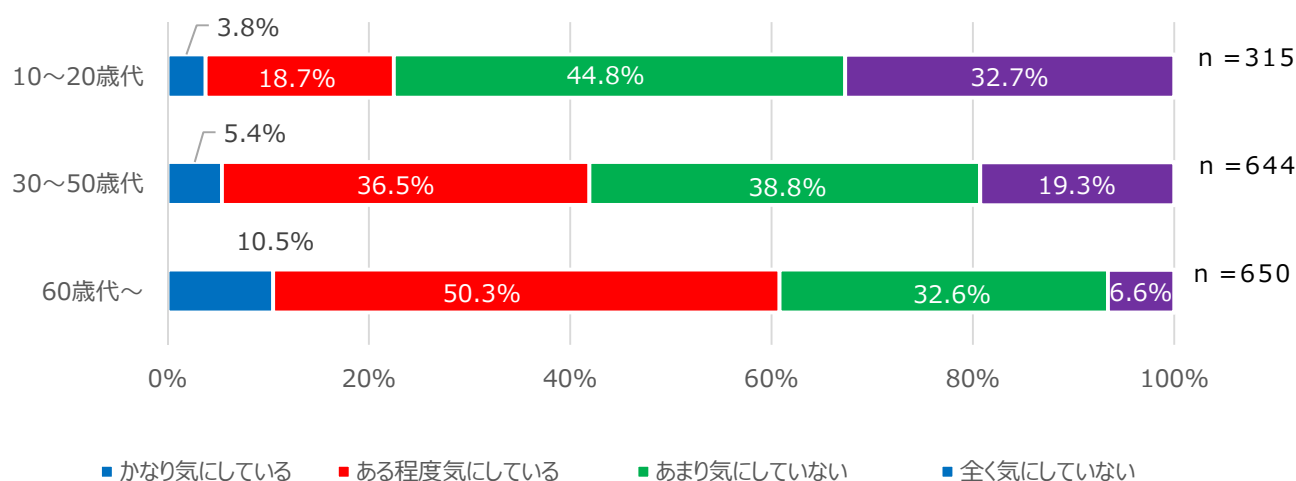


⑥ 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。

ア ブランドとして有名な産地のものであること。

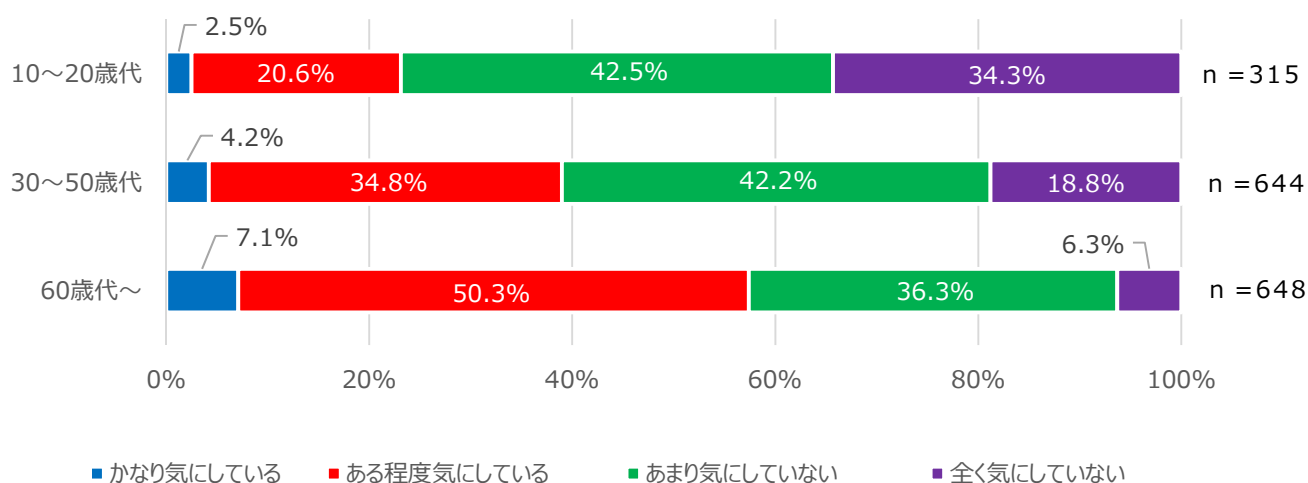


イ 藤沢産のものであること。

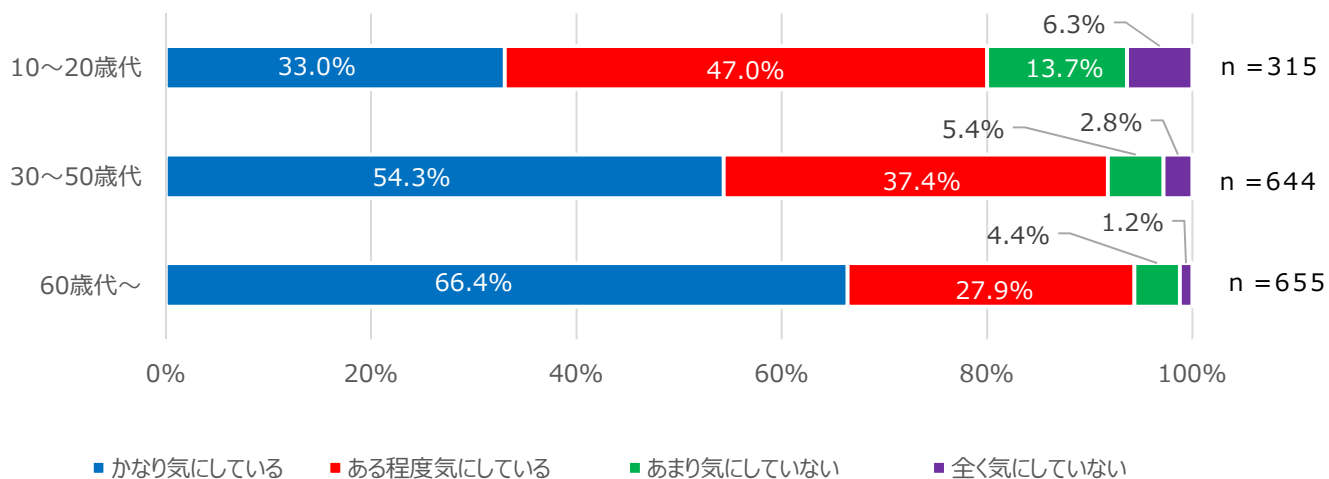




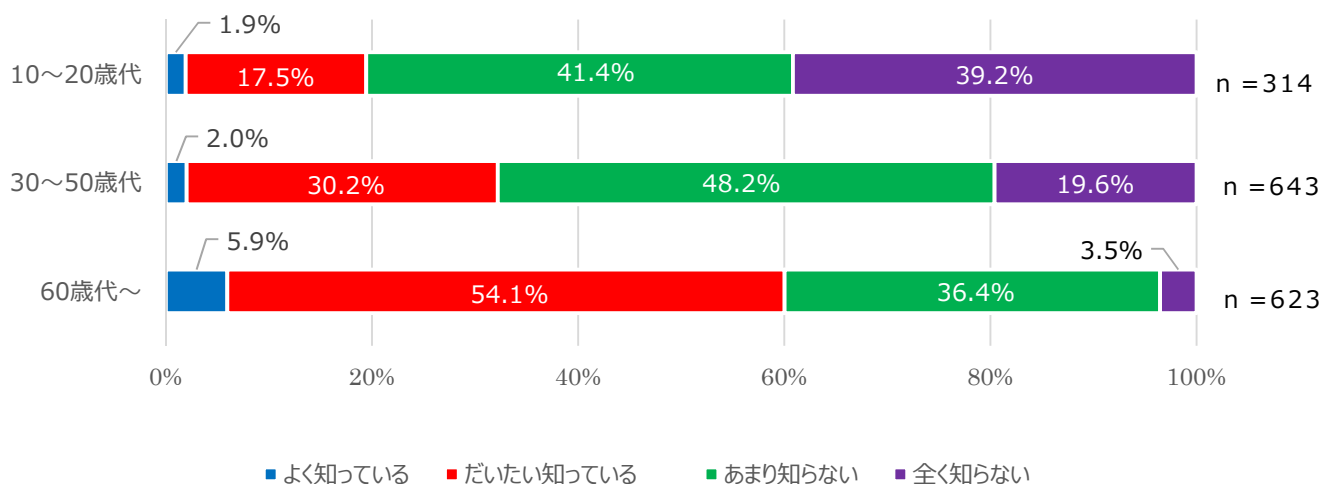
### ウ 県内産のものであること。



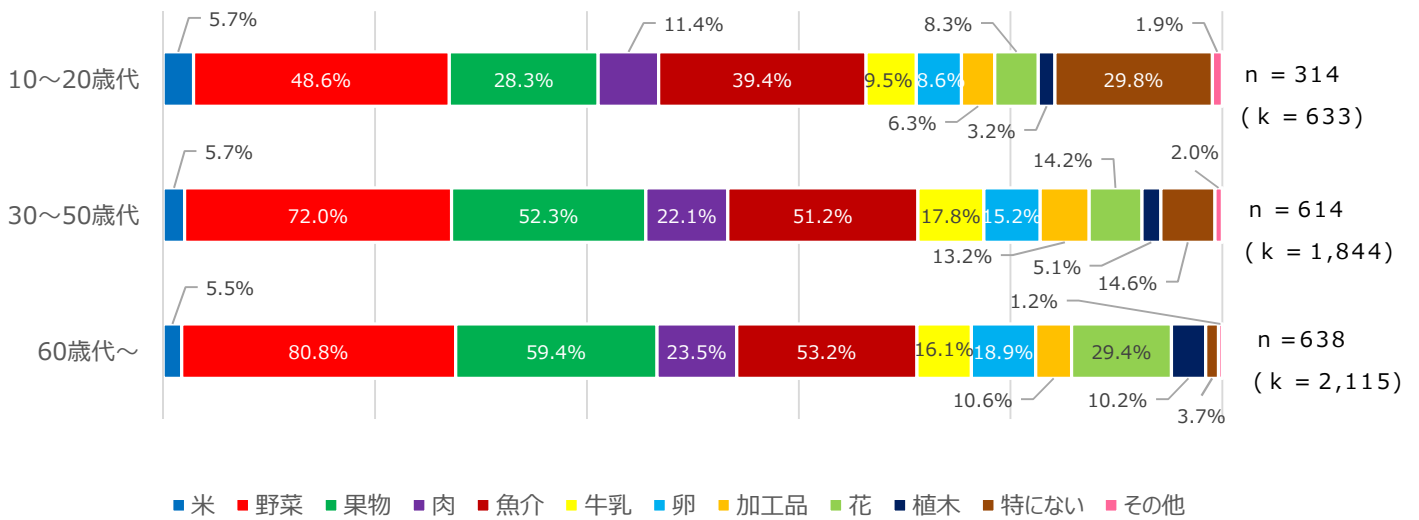
### エ 国産のものであること。



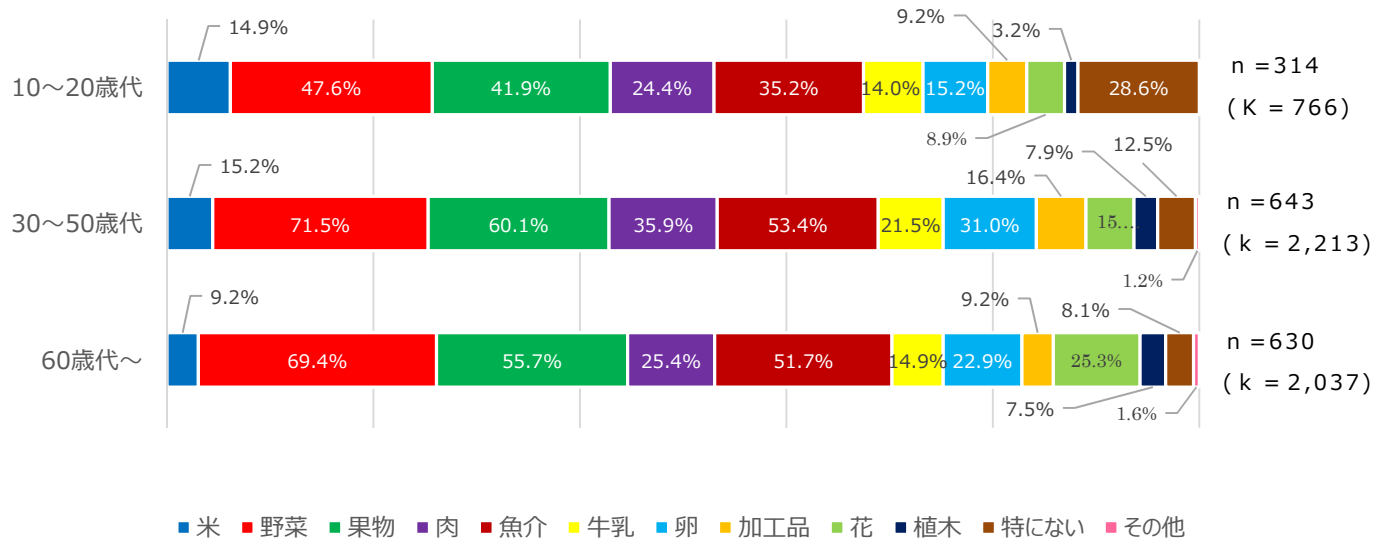
### ⑦ 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。



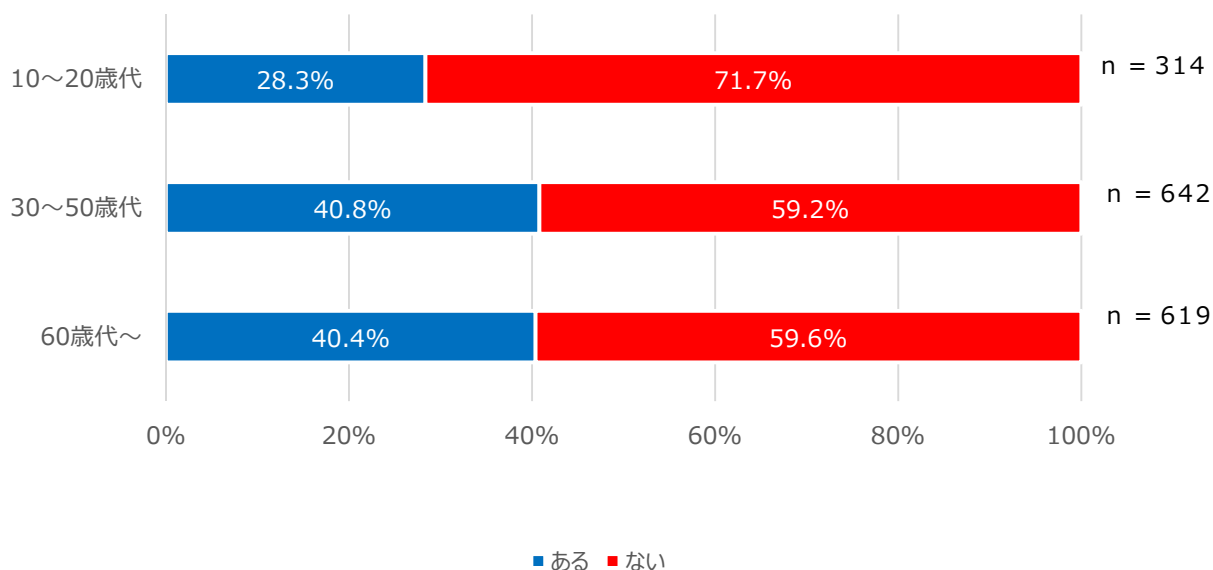
⑧ 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)



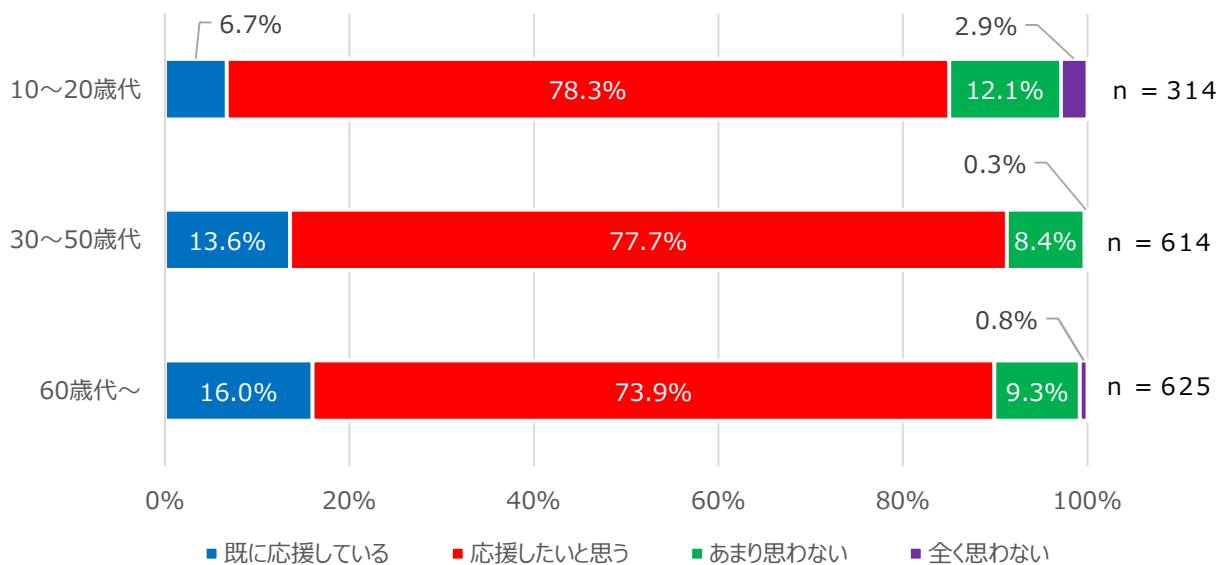
⑨ 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)



⑩ 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。

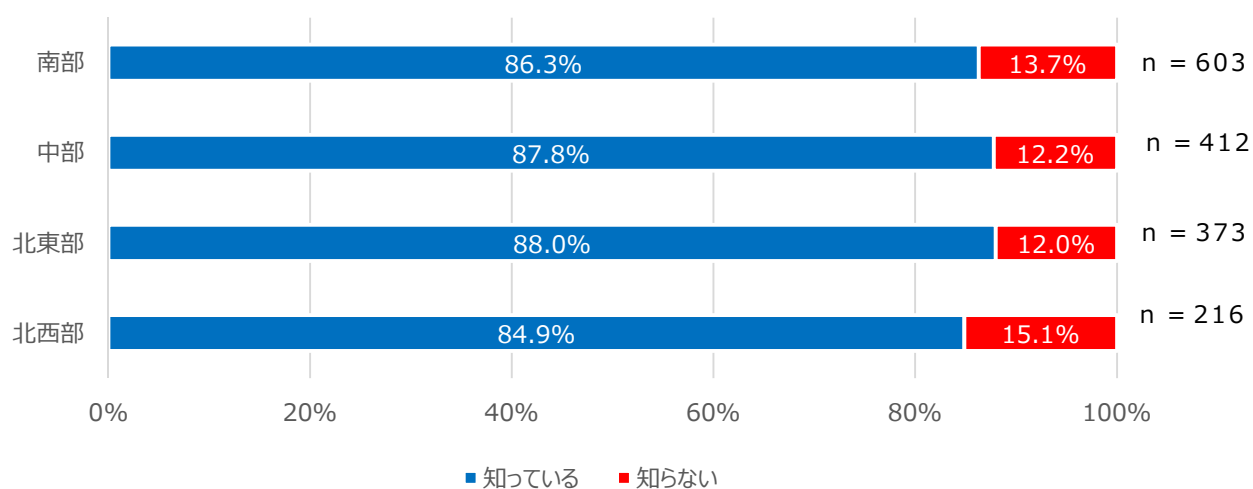


⑪ 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いませんか。



## (2) 地域別集計

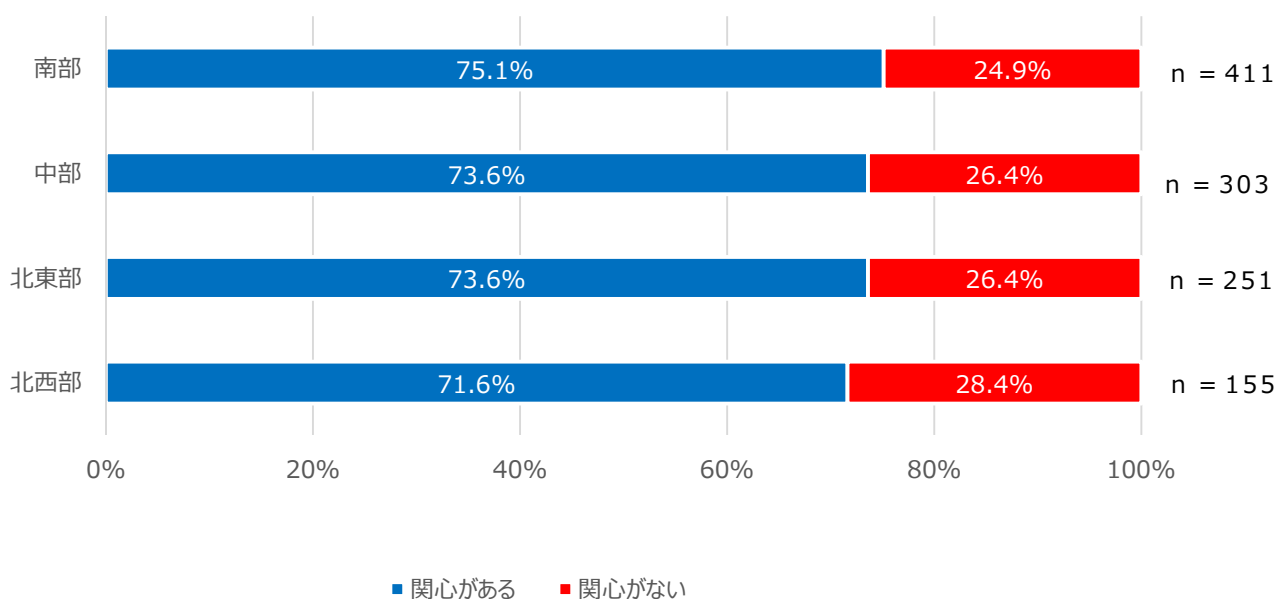
### ① 「地産地消」という言葉をご存じですか。



※「南部」 片瀬、鵜沼、辻堂、村岡 「中部」 藤沢、明治、善行  
 「北東部」 六会、湘南台、長後 「北西部」 湘南大庭、遠藤、御所見

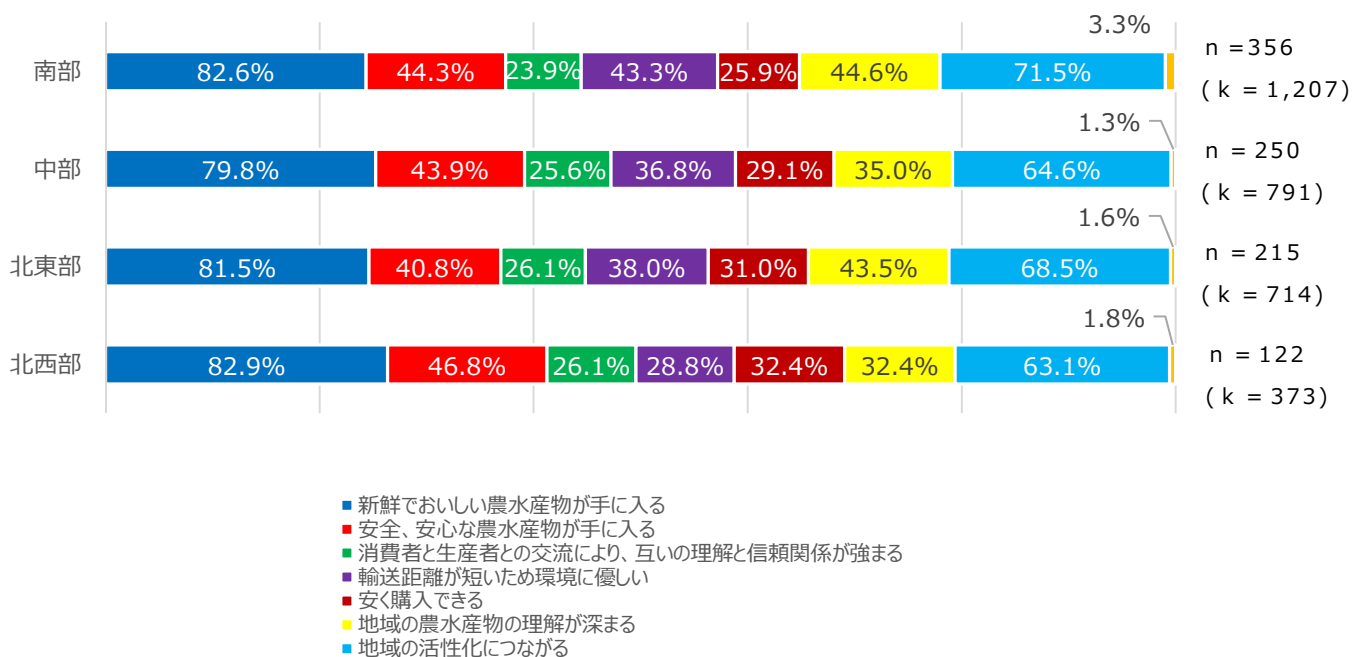
### ② 普段から「地産地消」に関心がありますか。

(①で知っていると回答した方)

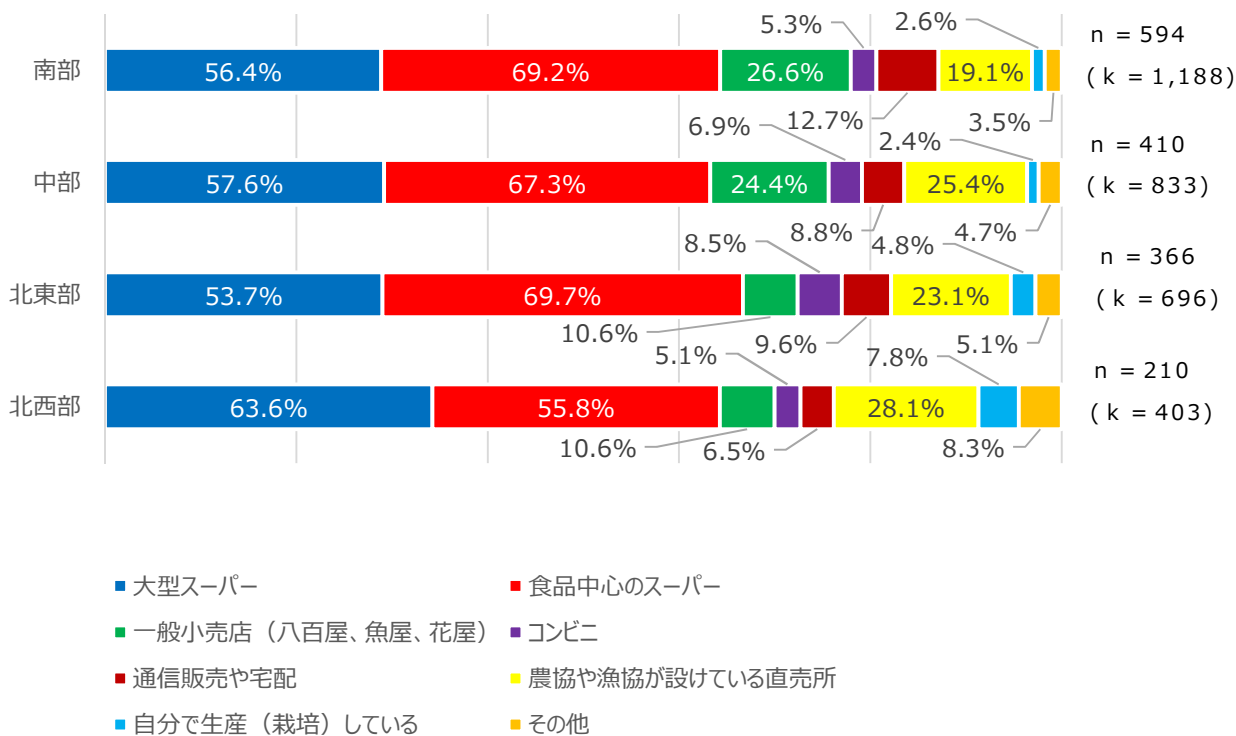


③ 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。

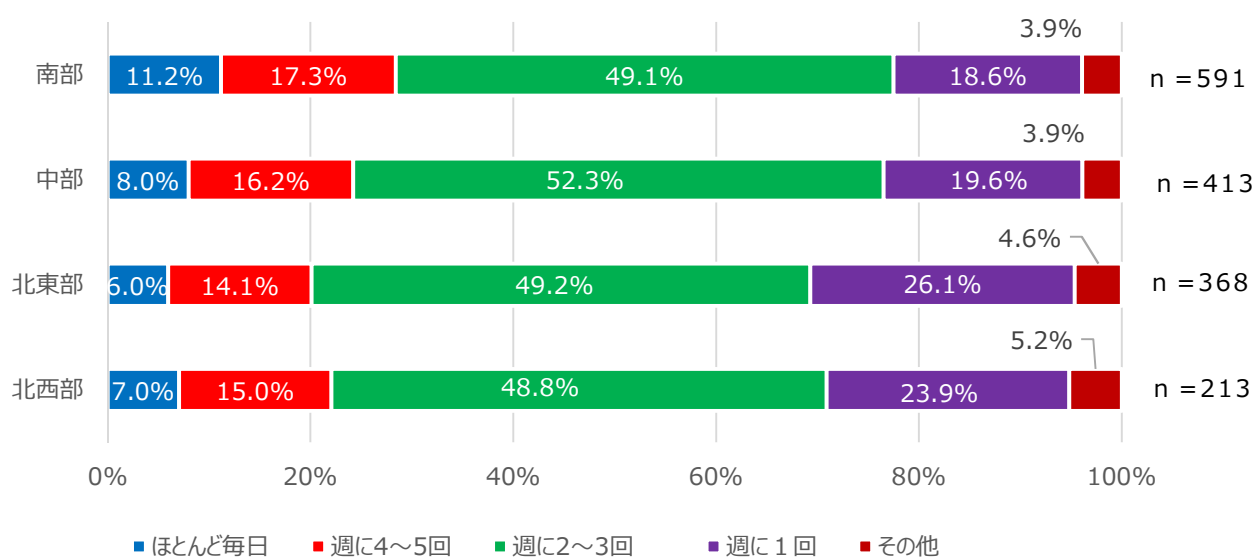
(②で関心があると回答した方) (複数回答可)



④ 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)

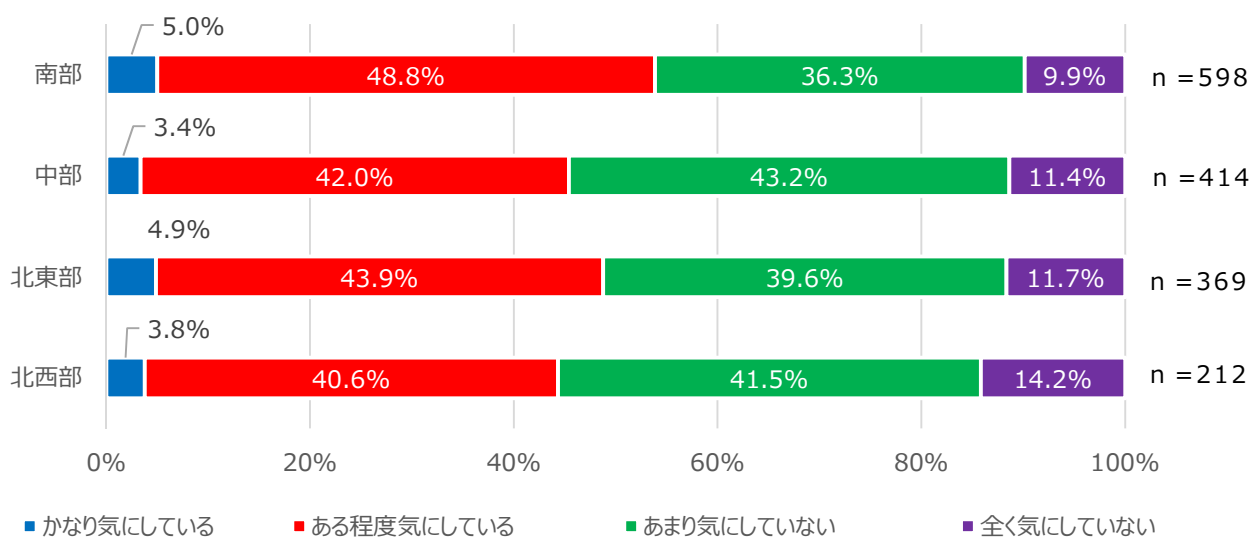


⑤ 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。

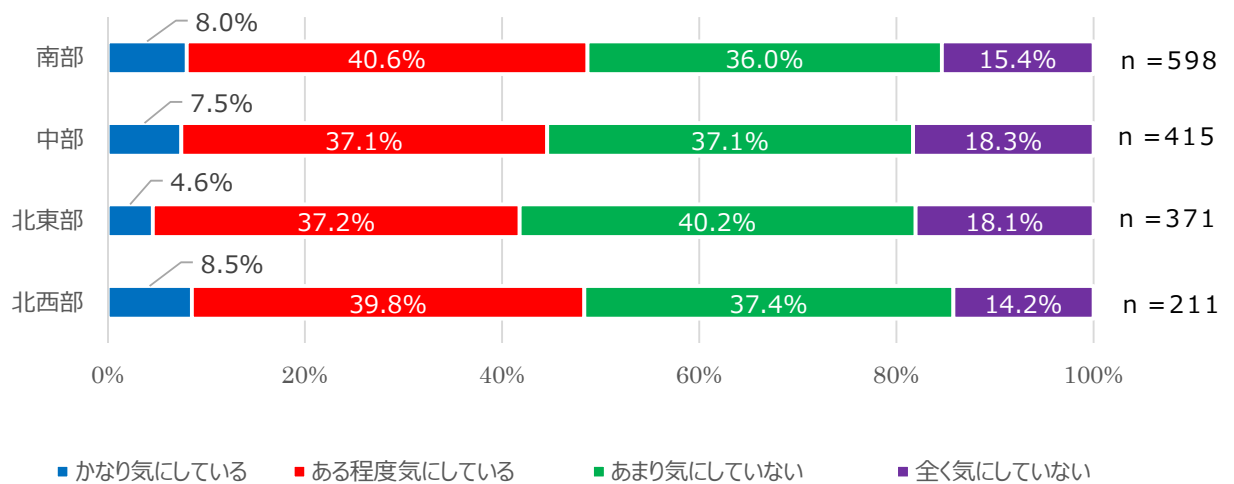


⑥ 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。

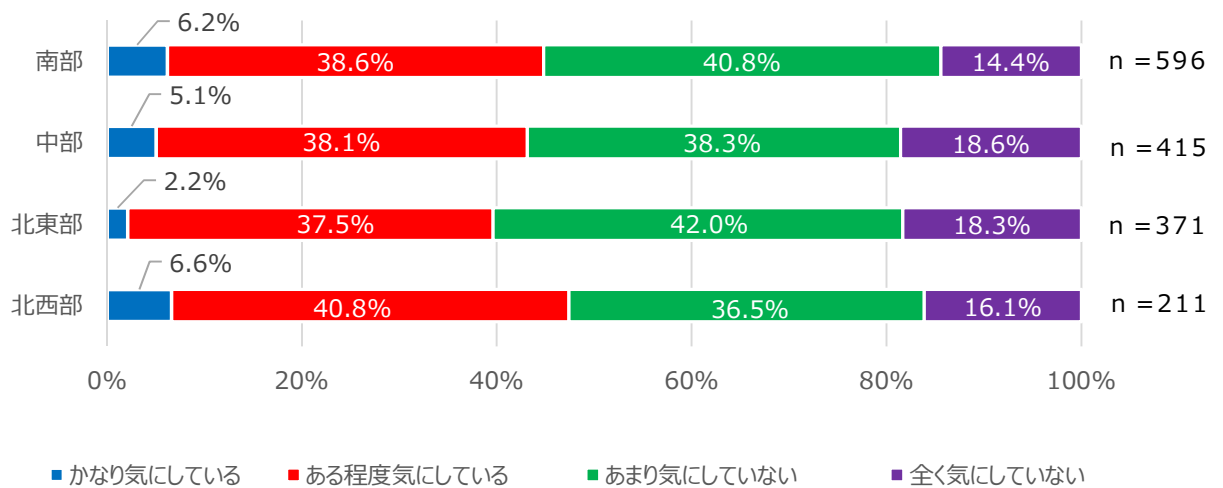
ア ブランドとして有名な産地のものであること。



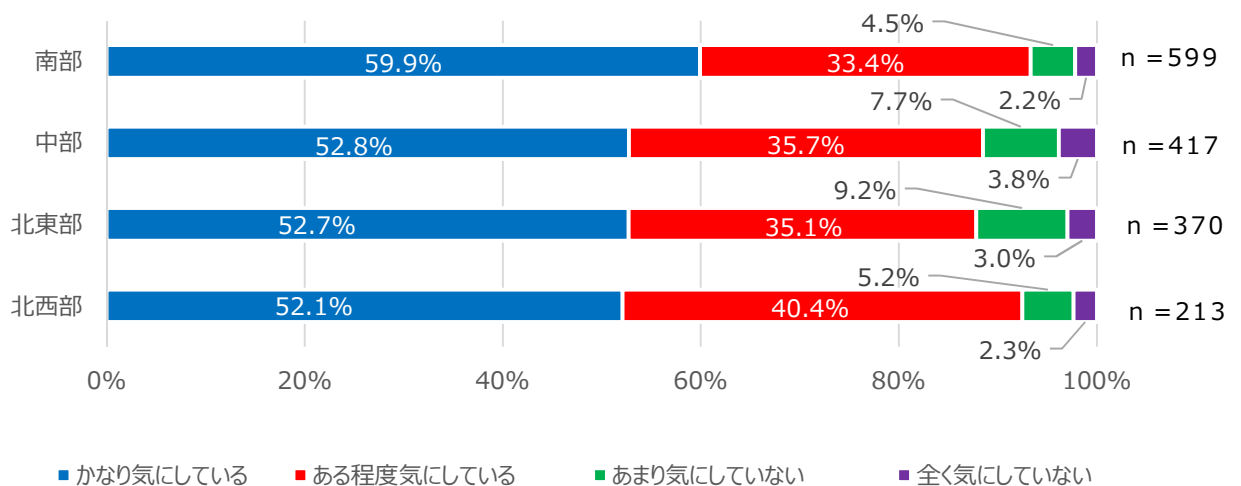
### イ 藤沢産のものであること。



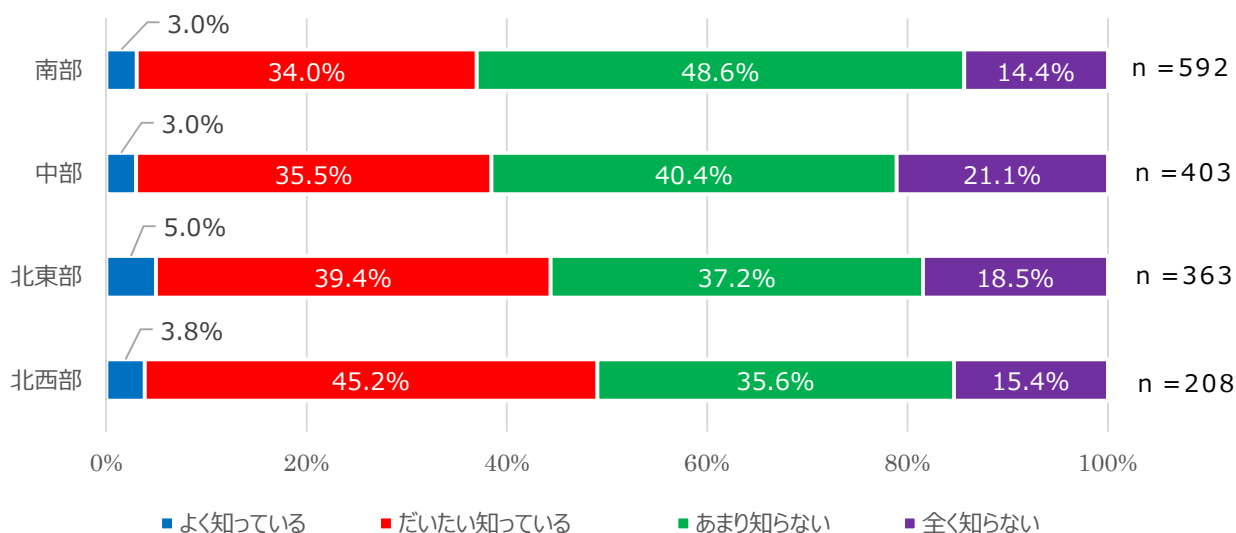
### ウ 県内産のものであること。



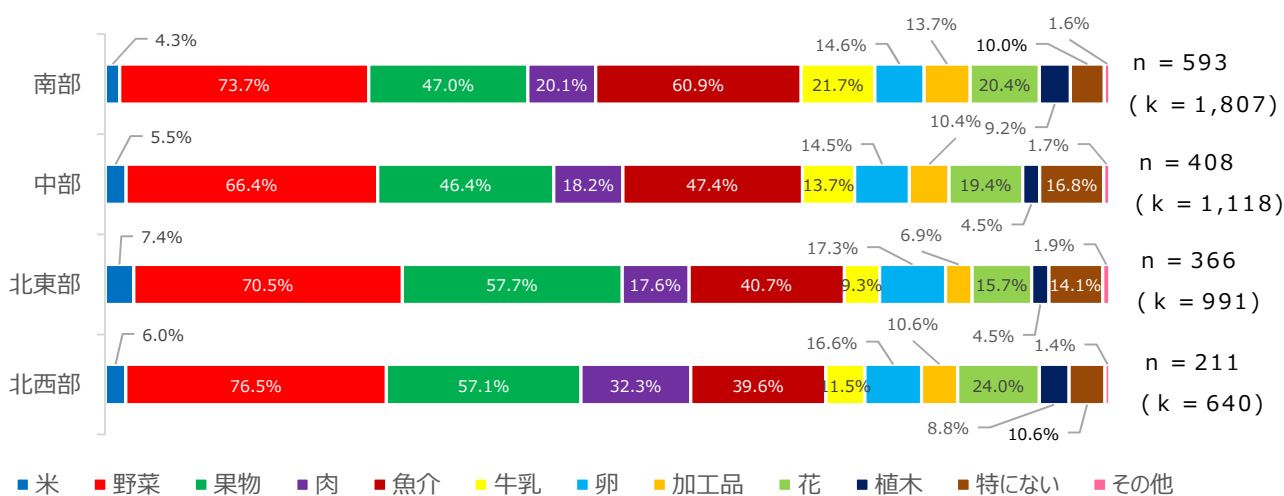
### エ 国産のものであること。



⑦ 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。

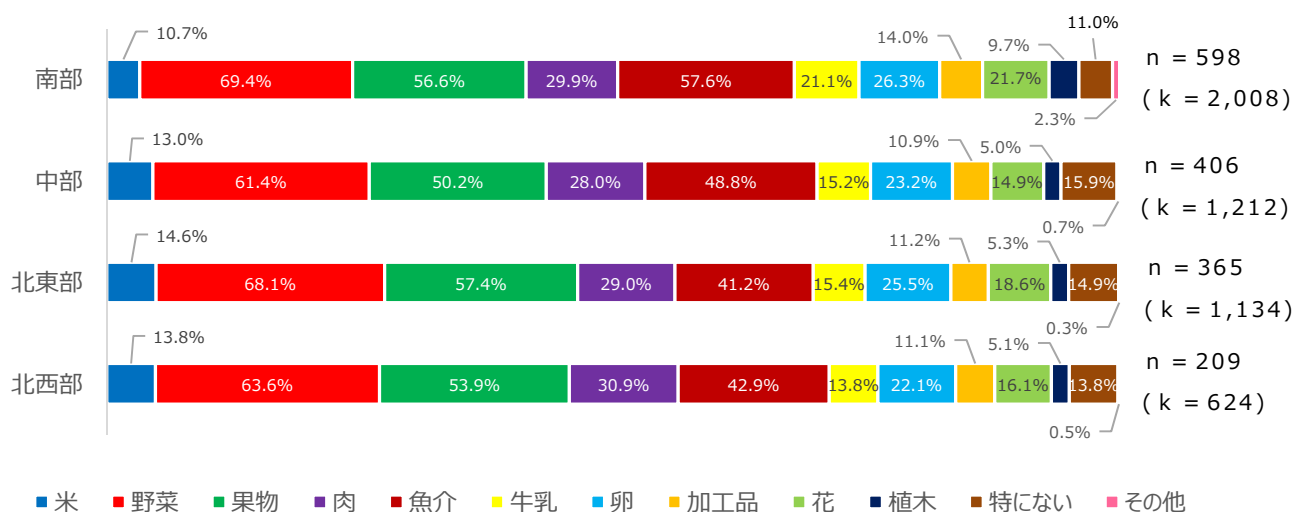


⑧ 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)

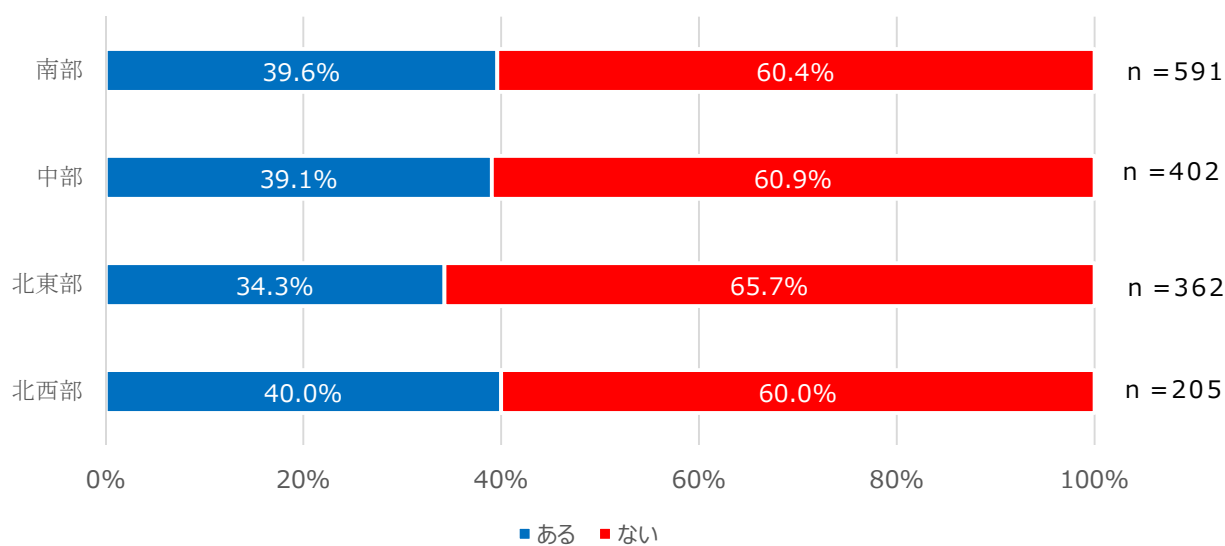




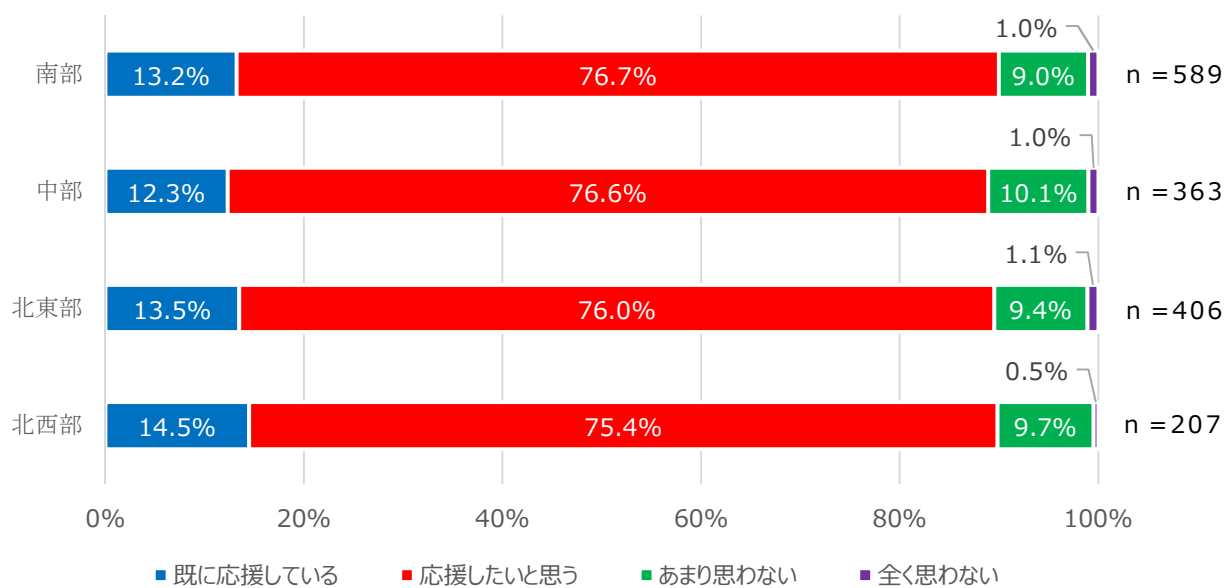
⑨ 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)



⑩ 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。



⑪ 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いますか。



**令和 3 年度  
地産地消に関するアンケート結果**

**令和 4 年 3 月**  
**藤沢市経済部農業水産課**  
〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1  
TEL 0466-25-1111 (内線 3431)  
FAX 0466-50-8256  
Email [fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp](mailto:fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp)